

令和5年度

全日本音楽教育研究会中学校部会

調査研究 報告書

令和6年3月

全日本音楽教育研究会中学校部会調査研究部

音楽科授業での「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価規準と指導に関する調査
～「粘り強く学習に取り組もうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」に着目して～

- 1 目的 令和3年度に中学校において新しい学習指導要領が全面実施となった。新たに3つの観
点が示され、各支部で研究が進んでいるところである。しかし、そのうち「主体的に学習
に取り組む態度」に関して「粘り強く学習に取り組もうとする側面」と「自らの学習を調
整しようとする側面」の評価規準をどのように設定し、そのための指導をどのようにした
らよいかについての戸惑いの声も多く聞かれる。こうした状況から、この際、このこと
について全国での事例を集約する調査を行いたいと考えた。あくまで現時点での事例を
集め各支部での研究に資することが目的であるので、その回答内容について全日音研・調
査研究部が注釈を加えたり論評を加えたりすることはしない。
- 2 対象 全国公立中学校音楽科教員
- 3 調査概要 調査対象者がインターネットで全日本音楽教育研究会中学校部会のホームページにアク
セスし、実践内容を記述する。
- 4 調査期間 令和5年7月1日（土）から8月31日（木）まで
- 5 方法
(ア) 全日本音楽教育研究会中学校部会のホームページにアクセスする。
アクセス URL <https://zennichionken-jhs.jp>
又は 全日本音楽教育研究会中学校部会で検索
(イ) 『音楽科授業での「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価規準と指導に関する調査』
のバナーをクリックする。
(ウ) 都道府県を選択する。
(エ) 調査内容
○『任意の授業で設定した「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準とその育成のために実際に行
った具体的な指導についてご回答ください』
回答事項
① 学年 ② 領域・分野・時数
③ 題材名と使用した教材
④ その題材で設定した「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準
⑤ 上記④を育成するためにどのような「指導」をしたか

<回答例>

- ① 第2学年 ② 器楽（4時間扱い）
- ③ 楽器の音色の違いを感じ取り、三味線の特徴を理解して演奏しよう・長唄「鳥羽絵」
- ④ 三味線の構造や奏法による音色の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。
- ⑤ 第1時：実際に音を出して試すなどして、三味線の音色、構造や奏法を知るとともに、体験をしながら関心をもたせる。
第2時：長唄「鳥羽絵」の一節を演奏するために必要な奏法を、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けさせる。
第3時：長唄にふさわしい器楽表現にしようと、グループで話し合わせる。
第4時：自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。
全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 音楽】第3編事例2参照

6 その他

- (ア) 調査の回答内容に個人情報等が含まれないようご配慮ください。
- (イ) 調査回答の内容については、各校の管理職より許諾を得てください。
- (ウ) 調査集計結果は、調査集計結果は、集計が完了次第、本会ホームページ上で公開する予定ですが、その際解答毎の都道府県名も公表いたします。

7 調査結果

- (1) 全国調査回答数 221件
- (2) 都道府県別回答数

都道府県名	回答件数	都道府県名	回答件数
北海道	4	石川	7
青森	14	岐阜	18
宮城	2	静岡	40
栃木	25	大阪	3
埼玉	25	京都	13
千葉	9	鳥取	1
神奈川	26	島根	4
新潟	9	山口	12
東京	1	香川	8

計 221

(3) 調査結果概要

主体的に学習に取り組む態度の指導と評価に関しては、音楽科のみならず、すべての教科で関心の高い部分であると言われている。この調査からは「粘り強く学習に取り組もうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」についてどのように指導し、どのように評価をしていったらよいか、全国の音楽科教員が模索を繰り返しながら、よりよい指導と評価につなげていく努力を行っている様子が見てとれる。

領域・分野に関しては重複しているものもあるが ①歌唱（76件） ②器楽（63件） ③創作（23件） ④鑑賞（69件）という結果になった。

評価規準や指導の内容が多岐にわたっているために一概に述べることは困難だが、回答のうち『「主体的に学習に取り組む態度」を育成するためにどのような「指導」をしたか』について、

- ①練習する、歌唱する、創作するなどの“演奏活動”に関する記述
- ②意見交換、アドバイス、話し合いなどの“相互のやりとり”に関する記述
- ③振り返り、関心をもつ、考える、工夫するなど“自己の学習活動”に関する記述
- ④発表、グループでの活動、(ワークシートに)記入するなど“学習方法に関する記述”

で分類を試みたところ、③④に関する記述のほうが圧倒的に多く、本調査の趣旨である、「主体的に学習に取り組む態度」に関して「粘り強く学習に取り組もうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」の評価規準をどのように設定し、そのための指導をどのようにしたかについての記述が多くなされていることがわかる。

本調査が全国の学校の参考として活用されることを願っている。

なお、全日音研・調査研究部でいただいた回答の整理を行ったが、現行の学習指導要領の趣旨に照らして果たしてどうなのかという記述も見られた。しかし調査依頼で「あくまで現時点での事例を集め各支部での研究に資することが目的であるので、その回答内容について全日音研・調査研究部が注釈を加えたり論評を加えたりすることはしない」としたように、明らかな誤りを除いては訂正を行わなかった。また、記載内容を尊重するために体裁を整えることも最小限とした。このため、表記にばらつきがみられるがご容赦をいただきたい。

(4) 「考察」河合教科調査官（寄稿）… 今回の調査にあたり、回答を河合教科調査官にお読みいただき、ご寄稿をいただいたものを掲載した。

(5) 回答内容 (4) の後に掲載

分類は ①歌唱・器楽・創作・鑑賞の領域・分野順 ②学年順としてある。

考察

「音楽科授業での『主体的に学習に取り組む態度』の観点の評価規準と指導に関する調査」の結果を踏まえて

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

文化庁参事官（芸術文化担当）付教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官

河合 紳和

平成 28 年 12 月 21 日の中央教育審議会「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」では，各教科等において育成を目指す資質・能力の三つの柱のうち「学びに向かう力，人間性等」には，「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と，観点別学習状況の評価や評定にはなじまず，こうした評価では示しきれないことから「個人内評価」を通じて見取る部分があることに留意する必要があるとしています。したがって，「主体的に学習に取り組む態度」の評価は，資質・能力の三つの柱の一つである「学びに向かう力，人間性等」の涵養へと通じるものであること，またそれは，「個人内評価」と併せて「学びに向かう力，人間性等」の育成に繋げていくべきものであることを理解しておく必要があります。新観点による学習評価が導入されて以降，「主体的に学習に取り組む態度」をどのように評価したらよいかということに先生方の関心が高まるあまり，「個人内評価」の重要性が置き去りにされているように感じています。このことを最初に再確認した上で，以下，「主体的に学習に取り組む態度」の評価について考えていきたいと思えます。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価に際しては，単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど，生徒の性格や行動面の傾向を評価するというのではなく，各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして，「知識及び技能」を獲得したり，「思考力，判断力，表現力等」を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面と，そうした粘り強い取組を行う中で，自らの学習を調整しようとする側面という二つの側面を評価することが求められています。このうち，後者の「自らの学習を調整しようとする側面」については，生徒が自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど，自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することになります。

ここで重要なのは，単に「粘り強く取り組もうとしているか」，「自らの学習を調整しようとしているか」を評価するのではなく，その粘り強さが「知識及び技能」を獲得したり，「思考力，判断力，表現力等」を身に付けたりすることに向かう粘り強さであるかどうかを見極めること，また，学習の自己調整についても，「知識及び技能」を獲得したり，「思考力，判断力，表現力等」を身に付けたりすることに向けて粘り強く取り組もうとする中で自らの学習を調整しようとしているかどうかを見極めることです。すなわち，「主体的に学習に取り組む態度」の評価は，他の二つの観点（「知識・技能」，「思考・判断・表現」）の状況を踏まえた上で行う必要があること，また，「主体的に学習に取り組む態度」の評価の二つの側面については，教科等の学びの中では別々ではなく，相互に関わり合いながら立ち現れるものであることを再認識しておく必要があります。

各題材等における「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準については，学習指導要領における「各学年の目標」を踏まえて示された，各学年の「評価の観点の趣旨」に示す「主体的に学習に取り組む態

度」の観点の趣旨に即して作成します。中学校音楽科では、いずれの学年においても「主体的に学習に取り組む態度」の観点の趣旨を「音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている」と示していることから、これを土台として評価規準を作成します。このうち、冒頭の「音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう」の部分は、「主体的に学習に取り組む態度」における音楽科の学習の目指す方向性を示す文言であるため評価規準には含めず、それに代えて、生徒がその題材に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要な、扱う教材曲や曲種等の特徴、学習内容など、生徒に興味・関心をもたせたい事柄を十分吟味し、「～に関心をもち」として設定します。また、末尾の「表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている」の部分については、その題材で扱う領域や分野（「歌唱」、「器楽」、「創作」、「鑑賞」のいずれか。複数の領域や分野を関連付けた題材の場合には「歌唱及び鑑賞」のように）に置き換えます。

ここで、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の観点の趣旨に「主体的・協働的に」と示されている意味について考えてみましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の評価の観点ですから「主体的に」だけでよいはずなのに、なぜそこに「協働的に」という文言が加えられているのでしょうか。このことを考える上で、「指導と評価の一体化」の趣旨について改めて確認しておきたいと思います。

「指導と評価の一体化」とは、文字通り「指導したことを的確に評価し、その評価を指導に生かし、生徒の学習改善や教師の指導改善を図っていくこと」です。したがって、「何を指導するか」ということと「何を評価するか」ということは表裏一体の関係にあると言えます。このうち「何を指導するか」については、学習指導要領の「内容」に、事項ア（「思考力、判断力、表現力等」に関する資質・能力）、事項イ（「知識」に関する資質・能力）、事項ウ（「技能」に関する資質・能力）として、それぞれ具体的に示しています。ですから、「知識」、「技能」、「思考・判断・表現」の各観点については、「指導」と「評価」を一体的に捉えやすいわけです。しかしながら、「主体的に学習に取り組む態度」については、生徒の学習への継続的な取組を通して現れる性質を有することなどから、学習指導要領の「内容」に事項として示していません。そのため、生徒の「主体的に学習に取り組む態度」を育成するために「何を指導するか」が曖昧であったり、意識されなかったりしがちです。先生方から「主体的に学習に取り組む態度」をどのように評価すればよいか分からないという声をしばしば耳にしますが、これは「主体的に学習に取り組む態度」の育成に向けて「何を指導するのか」が明確になっていないことが原因の一つであると考えられます。今回行われた調査では、調査事項の④で「その題材で設定した『主体的に学習に取り組む態度』の評価規準」について回答した上で、⑤で「上記④を育成するためにどのような指導をしたか」について回答を求めています。この④と⑤の回答に不整合が多いことから、「主体的に学習に取り組む態度」の観点における「指導と評価の一体化」についてじっくりと再考していく必要があると思われる。

さて、話を「協働的に」に戻します。

平成31年1月21日の中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」では、「それぞれの観点別学習状況の評価を行っていく上では、児童生徒の学習状況を適切に評価することができるよう授業デザインを考えていくことは不可欠である」とし、「特に『主体的に学習に取り組む態度』の評価に当たっては、児童生徒が自らの理解の状況を振り返ることができるような発問の工夫をしたり、自らの考えを記述したり話し合ったりする場面、他者との協働を通じて自らの考えを相対化する場면을単元や題材などの内容のまとまりの中で設けたりするなど、『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善を図る中で、適切に評価できるようにしていくことが重要で

ある」としています。ここで示す「他者との協働を通じて自らの考えを相対化する場面」を設けることは、(児童)生徒が自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学んでいく上で極めて重要な「場面」であると言えるでしょう。

ここまで述べてきましたように、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を充実させていくためには生徒の「主体的に学習に取り組む態度」を育成していくための「指導の工夫」が重要であると考えます。そこで、私見ではありますが、生徒の「主体的に学習に取り組む態度」の評価に向けた指導の工夫として次の二つをポイントとしてご提示させていただきます。

第一に、生徒が主体的に学習に取り組みたくなるような題材を構想することです。『中学校学習指導要領解説(平成29年告示)総則編』では、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた三つの視点に立った授業改善」の①として「学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる『主体的な学び』が実現できているかという視点」を示していますが、生徒が「学ぶことに興味や関心をもち」、「自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら」、「見通しをもって」、「粘り強く取り組み」、「自己の学習活動を振り返って次につなげる」学びを実現する上で、その題材を学習することが生徒にとって魅力的であり、価値を感じられるものであることが不可欠です。そのためには、生徒がその題材を学習することに必然性や必要性を感じながら学習に取り組むこと、学習目標や課題、問いなどが生徒にとって「自分ごと」として捉えることができるものであることが求められるでしょう。

第二に、生徒が自らの学習状況を評価できる場면을適切に設定することです。この「場面の設定」は「主体的に学習に取り組む態度」を育成する上で重要な鍵となる「指導の工夫」であるとは私と考えています。生徒が自らの学習状況を把握し、自らの学習を調整しながら学ぶことができるようにするためには、前述のように協働的な学びの場면을適切に設定することのほか、生徒が「ゴール」を意識しながら学習に取り組むことができるようにすること、学習活動の中で生徒自身が「分かった」、「できた」、「身に付いた」と実感できるような場면을設定すること、「学習の振り返り」が次の学びに繋がるものになっていることなどが求められるでしょう。

以上を踏まえ、再度「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準について振り返ってみますと、冒頭に設定する「～に関心をもち」の部分の設定が極めて重要であると改めて感じます。題材の評価規準を作成する際には、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の各観点については、学習指導要領の「内容」の事項に記している文言をそのまま用いることで「指導」と「評価」の整合性をもたせていますが、前述のように「主体的に学習に取り組む態度」については「内容」に事項として示しておらず、評価規準を先生方がご自分で考えて設定する必要があります。「～に関心をもち」は、生徒が関心をもっているか「評価をする」ことのみには傾注するのではなく、生徒が「～に関心をもち」学習に取り組むことができるための「指導をする」ことも重要なのです。それは、この「関心」こそが生徒が粘り強く、自らの学習を調整しながら学んでいく原動力となると言えるからです。

「主体的に学習に取り組む態度」も評価について「何を」、「どのように」評価すればいいのか分からないという悩みを抱えておられる先生方は、生徒が粘り強く、自らの学習を調整しながら「知識及び技能」を獲得したり、「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために、どのような「揺さぶり」や「仕掛け」を働きかけているか(働きかけるべきか)という視点で、ご自身の「指導の工夫」について振り返っていただきたいと思います。

連番	①学年	②領域 分野	③題材名	④「主体的に取り組む態度」評価規準	⑤育成するためにどのような「指導」をしたか	地区
1	第1学年	歌唱 (4 時間扱い)	曲にあった創意工夫をし、全体の響きや各声部の声を聴きながら、協力しあって合唱をしよう。合唱「つばめのよう」	自分やパート、全体の合唱の課題に気づき、主体的・協動的に学習活動に取り組む。より良い合唱を創ろうとしている。	全 時：①個人とパートで本時の目標を決め、課題解決に取り組む。(学びに向かう力) ②パート練習時に自分がアドバイザーされたことを振り返りカードに書き、次時に生かす。(学びに向かう力・調整力) ③自分たちの合唱をタブレットで録画、録音をし、課題を見つければ、課題解決できているところを確認したりする。(調整力) 第1時：自分の声がどれだけの音域を出せるかチェックし、それを元にパート分けをした。 第2時：二部合唱に取り組む、パート練習を行う。 第3時：二部合唱として合わせを行い、曲を完成させる。 第4時：混声三部合唱に取り組む、パート練習を行う。 第5時：混声三部合唱として合わせを行い、曲を完成させる。 第6時：二部合唱と混声三部合唱の違いは何かを考えた。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	神奈川県
2	第1学年	歌唱 (4 時間扱い)	二部合唱と混声三部合唱の違いは何だろう。	合唱の練習に粘り強く取り組んだり、合唱練習に主体的に取り組む。	第1時：自分の声がどれだけの音域を出せるかチェックし、それを元にパート分けをした。 第2時：二部合唱に取り組む、パート練習を行う。 第3時：二部合唱として合わせを行い、曲を完成させる。 第4時：混声三部合唱に取り組む、パート練習を行う。 第5時：混声三部合唱として合わせを行い、曲を完成させる。 第6時：二部合唱と混声三部合唱の違いは何かを考えた。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	静岡県
3	第1学年	歌唱	情景を思い浮かべながら表現を工夫して歌おう。「浜辺の歌」	浜辺の歌の歌詞の情景や曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第2時で4人グループでの活動となる。特に表現を工夫したいフレーズについて意見交換する中でどのように歌いたいかについて思いや意図を協働で深めていく。	神奈川県
4	第1学年	歌唱 (2 時間扱い)	「赤とんぼ」	想像した情景に合った表現をするために必要な強弱記号を楽譜に書き込んだり、実際に試したりして、表現を考える。	第1時：歌詞の内容にあったイメージカラーを考え、その色にした理由を考えさせる。 第2時：強弱記号の書かれていない赤とんぼの楽譜を配布し、1から4番それぞれの歌詞のイメージに合った情景や表情を考えさせる。	京都府
5	第1学年	歌唱 (2 時間扱い)	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。「浜辺の歌」	「浜辺の歌」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：歌詞の内容や曲想からイメージする登場人物を設定させ、曲想に合う心情を想像して物語を作り、イメージに合う歌い方を工夫させる。 第2時：曲想を生み出している音楽の要素を楽譜から読み取り、イメージした情景や心情は、音楽のどの部分から感じたのか、楽譜から読み取れる要素を見つけ、表現の工夫を行う。	青森県
6	第1学年	歌唱 (2 時間扱い)	歌唱・曲の構成を感じ取って演奏しよう。「主人は冷たい土の中に(静かに眠れ)」	・旋律の特徴、強弱、終わりの音の階名、旋律の雰囲気自分で考えることができる ・表現豊かに歌うことができる	第1時：1時間目・・・曲の情景を思い浮かべながら歌う。 第2時：2時間目・・・旋律の特徴、強弱、旋律の雰囲気を自分で考え、それを参考に音楽的表現をつけながら歌うことができる。	埼玉県
7	第1学年	歌唱 (2 時間扱い)	歌詞の情景や曲想を生かして表情豊かに歌おう。「赤とんぼ」	曲想や歌詞の内容の関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：曲想や歌詞の内容との関わりについて、グループで話し合いをする。 第2時：「赤とんぼ」を表現豊かに歌うために必要な技能を身につけるために、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながらグループ練習をする。	神奈川県
8	第1学年	歌唱 (2 時間扱い)	曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう。「主人は冷たい土の中に」	曲想や音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて関心をもち、主体的・協動的に歌唱の活動に取り組んでいる。	全 時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。 第1時：曲の作られた背景に触れることで関心をもちさせる。手の高さと同じグループ内で合わせながら歌わせることで、音程の感覚を身に付けさせる。曲にふさわしい歌唱表現にするため、グループで話し合わせる。 第2時：自分の歌唱表現を振り返ったり、他のグループの歌唱表現を聴いて感想を伝えたりさせる。グループごとの発表の場面で、他者に助言したり他者からの助言を参考にしながら表現を工夫させる。	埼玉県

9	第1学年	歌唱（2時間扱い）	曲の構成を感じ取り、歌唱表現を工夫しよう。 「主人は冷たい土の中に」	曲想と音楽の構造は歌詞の内容との関わりについて理解し、音楽活動を楽しみながら主體的・協動的に歌唱の授業に取り組むとともに、歌唱に親しむ。	第1時：曲の雰囲気や歌詞の内容について考え、歌唱しながら関心をもたせる。 第2時：曲想を生かした歌唱表現を考えるために、曲の構成についてグループで話し合わせ、実際に歌唱をして歌唱表現を創意工夫する。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	栃木県
10	第1学年	歌唱（3時間扱い）	曲想にふさわしい強弱記号を付けよう。 「翼をください」	旋律や歌詞、またそれらと強弱の関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主體的・協動的に歌唱の学習活動に取り組む。	第1時：歌詞カードを用いた練習をし、歌詞と音程を確認する。 第2時：強弱記号の書かれていない楽譜をグループごとに1枚取り、曲想にふさわしい強弱記号について話し合わせ、記入させる。 第3時：グループごと練習をしてもらい、発表させる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	静岡県
11	第1学年	歌唱（3時間扱い）	情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。 「赤とんぼ」	「赤とんぼ」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主體的・協動的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、日本歌曲に親しむ。	第1時：「赤とんぼ」に関する写真などの資料を示して関心を持たせ、範唱音源を聴いて感じ取ったことを意見交換させながら、作者の思いをグループで考えさせる。 第2時：前時の詩の解釈をもとに、個人で考えた思いや意図をグループで共有させ、「赤とんぼ」をどのように表現するか、グループで話し合いながら歌い試させる。 第3時：前時にグループで考えた表現の工夫について発表し、グループで音色、強弱、速度、言葉の発音などを工夫しながら練習、発表させる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	神奈川県
12	第1学年	歌唱（4時間扱い）	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら表現活動を工夫しよう。	旋律と言葉との関係に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主體的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・歌詞の内容を理解して、旋律との関わりを味わって歌うよう指導する。 ・工夫する点を話し合い活動させる。 ・自分のクラスの合唱だけでなく、他クラスの合唱を聴き評価し合う。	京都府
13	第1学年	歌唱（4時間扱い）	パートの役割を感じ取り取り合っよう。 「朝の風に」	音色、強弱、テクスチャを軸により良い合唱曲とするための課題を見つけ、その解決方法を自ら考えようとする。課題に対して粘り強く考え、主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組んでいく。	第1時：よりよい練習を行っていくための方法を考え、班で話し合う。 第2時：模範演奏と自分たちの演奏の録音を聴き比べ、改善点を見付け、直していく。 第3時：自分たちの合唱を動画で視聴することで、よりよくするための課題を見付け出し、班で話し合う。 第4時：自身のグループの演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いたりして、感想を伝え合う。	静岡県
14	第1学年	歌唱（4時間扱い）	作曲者が生きた時代とその思いに迫りながら歌おう。 「主は冷たい土の中で」	フォスターが生きた時代と歌詞から、その情景を主體的に協動的に考えたり、想像したりしている。	毎時間：授業の最後に本時の振り返りを行い、ロイノートに記入する。 第1時：詩からどのような情景かを想像して歌おう。 第2時：「主の死を嘆き悲しむ人々をみて感動した」のは、なぜなんだろう。 第3時：フォスターが生きた時代のアメリカはどんなことがあったのだろうか。 第4時：情景を想像しながら心をこめて歌おう。	静岡県
15	第1学年	歌唱（5時間扱い）	曲想を感じ取り、旋律や強弱の變化を生かした表現を工夫して歌おう。 教材名「カリブ夢の旅」	「カリブ夢の旅」の歌詞が表す情景や心情に関心をもち、音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。	第1時：楽曲に関心をもてるように、イメージをもたせ、交流してからパート練習させる。 第2時：音楽を形作る強弱など知覚したことと雰囲気を感じ受けたことを、パート練習で意見を出し合って練習させる。 第3時：2時で練習したことを生かし、歌唱表現を学習用端末で録画しながら工夫して練習させる。 第4時：他のパートと音を重ねた時の響きを聴きあい、意見を出し合いながら練習させる。 第5時：創意工夫を生かした表現で歌うための発声や発音に気を付け、曲想にあった歌い方で歌わせる。	石川県

16	第1学年	歌唱(5時間扱い)	日本の歌のよさや美しさを感取り、情景を想像しながら工夫して歌おう。 「浜辺の歌」 「赤とんぼ」	作者が曲を作った背景と歌詞が表す情景や心情に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：「浜辺の歌」を聴き、どんな海かを想像させる。小学校で学んだ「うみ」や「われは海の子」と比較することで、より詳しく海の情景を説明できるようにする。 第2時：前時で想像した海を歌唱で表すための工夫を考える。強弱に焦点を当てることで、想像した海の雰囲気表現しやすくする。 第3時：「赤とんぼ」で歌われている情景を想像させる。 第4時：「赤とんぼ」の情景を歌唱で表現できるように工夫を考えさせる。 第5時：「浜辺の歌」「赤とんぼ」を比較し、自分がよりよいと思う曲について魅力を伝える。その際には強弱がもたらす情景のあらわれを中心に伝えるようにさせる。	静岡県
17	第1学年	歌唱(6時間扱い)	曲にふさわしい表現を工夫し、豊かな響きの合唱をしよう。 「時の旅人」	・他の学習者の意見に共感したり質問したりしながら聞くことができている。 ・意見を交流しながら、共有し、班の意見を決めることができている。(観察・発言) ◎自分の考えをもち、相手の意見に対して、進んで質問したり意見を言ったりしている。	第1時、第2時、第3時：○パートごとに音程やリズムを意識し、旋律の特徴に気を付けながら歌えるようにする。○パート練習の中で強弱や旋律の雰囲気が変わる部分に着目させる。 第4時：○歌詞の内容を捉えて、作者の思いや意図を記入させる。○思考・判断したことを音や音楽で確認しながら話し合いを行う。 第5時：○歌い方についての話し合いで終わらないよう、様々な歌い方を試しながら考えるように働きかける。○生徒たちの考えた歌い方を声で表現できるよう、技能面の助言をする 第6時：○歌詞の内容と曲想の変化の関わりを考えながら、感情を込めた表現の仕方を工夫している。○声部の役割と全体の響きや表現を意識し、言葉の発音やブレスの仕方、強弱を工夫するように指導する。 ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 音楽】第3編事例2参照	埼玉県
18	第1学年	歌唱(7時間扱い)	仲間と共に表情豊かに合唱しよう。 「HEIWAの鐘」	・より良い合唱に向けての課題を見つけ、その解決方法を考えることができている。 ・自らの課題に対して粘り強く考え、主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。	・授業の最初に今日の目標を立て、合唱の練習をする。授業終わりにその目標を達成できたかや、新たに気づいた課題を書き、それを踏まえて次回の目標を立てるようにした。 第3時：合唱曲「HEIWAの鐘」を学習するにあたり、曲の背景を知ったうえでどのような合唱を目指していくか、目標をもつ。 第4時～第7時：自分たちの歌った「HEIWAの鐘」を聴き、さらに良くするためにどこを直していかかを考える。	静岡県
19	第1学年	歌唱(7時間扱い)	「魔王」(シューベルト) 魔王、父親、子供の3パートに分かれ、パート練習を実施。最後の4時間目で、クラス全員で歌唱の実技試験。	・各パートに分かれ、配信された音源を用い、自主自立的に練習に取り組めているか。 ・歌唱レベルが向上するよう、課題を見し、課題克服の為、練習方法を創意工夫しているかどうか。 ・パート内で特定の誰かが練習を推し進めるのではなく、協動的に練習に取り組んでいるか。 ・主体的且つ協動的に学ぶ姿勢を活かし、自分が在籍している学級が、ひとつの作品を仕上げるために力を合わせられる集団となるべく、クラスの一員としてその集団作りに尽力しているかどうか。	第1時：作品の鑑賞、言語がドイツ語であることを理解させる。 第2時：日本語歌詞の読み合わせ、作品の内容について理解を深める。 第3時：パート分け、音源の配信、練習開始 第4時：パート練習、教員との練習 第5時：パート練習、教員との練習 第6時：クラス全体で通し練習 第7時：実技試験、シューベルトについての学習(音楽史)	青森県

20	第1学年 第2学年	歌唱（8時間扱い）	歌唱の基礎的な技能を身に付けながら、曲想に応じた表現を工夫しよう。 (合唱曲※教材はクラスによって異なる)	○○(その時間に身に付けさせたい歌唱の基礎的な技能)の習得に関心をもつとともに、○○の技能を習得するための学習活動に主体的・協働的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階における自身の技能の状態を自己評価する。自己評価の際には具体的な評価の基準を明示する。 ・ 自分が目指したい到達目標(数値等)を明らかにする。 ・ その到達目標(数値等)の妥当性を、個別に確認し、必要に応じ助言をする。 ・ 動画を撮影し、都度自分の学習の記録を蓄積させる。 ・ 蓄積の状況を生徒自身が見て、中間評価を加える。 ・ 中間評価の妥当性を、個別に確認し、必要に応じ助言する。 ・ 最終評価に向け、強化するポイントを明らかにし、後半の学習に取り組む。 ・ 動画を撮影し、都度自分の学習の記録を蓄積させる。 ・ 蓄積の状況を生徒自身が見て、最終評価を加える。 ・ 蓄積の状況を教師が見て、個別に確認し、成長の様子をフィードバックする。 ※練習はパートを母体とする小集団で行う。	新潟県
21	第2学年	歌唱（2時間扱い）	曲想の変化を味わいながら、表現を工夫して歌おう。 「Joyful, Joyful」	編曲によって生み出される曲想の変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	<p>第1時：Aの部分とBの部分の聴き比べ、編曲によって生み出される曲想の変化に関心をもち、音楽の特徴を感じ取りながら学習活動に取り組む。</p> <p>第2時：「Joyful, Joyful」の曲想の変化を生かすためにどのように歌うかについて、グループで歌い試しながら歌唱表現の創意工夫をする。</p> <p>今まで学んできたことを振り返りながら、表現の工夫について気づいたことや学んだことを記入する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」における指導の工夫</p> <p>○課題設定の工夫</p> <p>◆音楽と出会い、音や音楽を主体的にとらえられるように第1時では、GIGA端末でPadlet（パドレット）というwebアプリを活用した。自分のペースで音楽を比較することができる。他者の知覚・感受したことを掲示板のようにコメントすることができ、他者の気づきを即時に可視化することができることから、主体的な学びへとつなげた。 ◆「～を工夫してみよう」といった教師主導の発問ではなく、生徒の発言を取り上げた上で「どのように演奏したらこの曲がより素敵になると思いますか？」と発問し、生徒が積極的に音楽と関わっていけるようにした。</p> <p>○題材の最後にこの題材を振り返ることができるところを設定し、学びを次につなげる</p> <p>◆第2時では授業の最後に「今までの学習を振り返り、表現の工夫について」気づいたことや感じたことについて記入する場面を設定した。この学習を通して学んだことや今まで学習したことや既存の知識や技能を活用したことについて振り返ることで、この学習をさらに次につなげていけるように促した。 ◆思いや意図を表現するために「どのように歌うか」についてグループに分かれて活動した。教師主体ではなく、生徒が自ら考えながら歌い試す場面を設定することで、ねらいに迫る振り返りができるようになった。</p> <p>第1・2時：楽曲に関心をもたせるために、楽曲の構造や曲の良さに気付かせた。</p> <p>第3時：Pを用いて、拡大した楽譜を見ながら、各声部の役割に気付かせ、どう表現するのかについて主体的に考えさせるようにした。</p> <p>第4時：声部のかかわりと全体の響きのかかわりについて理解し、音楽表現できるよう、パートごとにお互い聴き合ったり意見交換しながら活動を進める。</p>	神奈川県
22	第2学年	歌唱（4時間扱い）	曲想と構造、歌詞の内容との関わりをいかして音楽表現を工夫しよう。 混声3部合唱「HEIWAの鐘」	曲想や音楽の構造とのかかわりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		神奈川県

23	第2学年	歌唱	曲想の変化を生かした表現の工夫をして合唱しよう。 「夢の世界を」	歌詞の内容や曲想に関心をもち、合唱を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	歌詞の内容や曲想に関心をもち、合唱を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	神奈川県
24	第2学年	歌唱	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 「夏の思い出」	歌詞の内容(言葉の意味、歌詞が表す情景)や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい表現方法を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	歌詞の内容(言葉の意味、歌詞が表す情景)や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい表現方法を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・自分の経験や生活の中で感じたことや考えたことについて話す。 ・ほかの人の意見を聞いたり見たりすることで、より広い視野で考えられるようにする。 ・作詞者の思いや歌詞の内容について関連させ、楽譜に記入する。 ・グループで歌詞を読んだり、歌ったりしながら音楽表現を考える。 ・曲を聴き、感じ取った雰囲気や聴きとったことを発表する。 ・尾瀬の雰囲気や場所についての情報を共有する。 ・どのように歌ったら曲に合った雰囲気になるか考え、伝えあい、歌う。 ・ワークシートに記入する。	埼玉県
25	第2学年	歌唱(2時間扱い)	曲の雰囲気や歌詞との関わりに注目し、曲に合った表現を工夫して歌おう。 「夏の思い出」	曲の雰囲気や歌詞の関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	曲を聴き、感じ取った雰囲気や聴きとったことを発表する。 ・尾瀬の雰囲気や場所についての情報を共有する。 ・どのように歌ったら曲に合った雰囲気になるか考え、伝えあい、歌う。 ・ワークシートに記入する。	埼玉県
26	第2学年	歌唱(2時間扱い)	歌詞の内容や曲想を味わい、表現を工夫して「夏の思い出」を歌おう～旋律と強弱に注目して。 「夏の思い出」	旋律や強弱と歌詞(言葉のもつリズム、抑揚)との関係に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：旋律や強弱に注目し、実際に歌いながら曲の特徴をとらえる学習をした。その際、ワークシートを活用したり、3人グループで話し合ったりしながら考えた。 第2時：「水芭蕉の花が咲いている 夢見て咲いている水のほとり」という第3フレーズに着目し、「咲いている」の部分で歌うのとppで歌うのでは、何がちがうのかを教師の範唱を聴いて考えたり、自分たちで歌い比べながら考えたりした。 →このような学習により、この曲はどのように歌うとよいかを考え、まず第3フレーズについて歌い方を工夫した。	島根県
27	第2学年	歌唱(2時間扱い)	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう。 「夏の思い出」	歌詞の表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	第1時：歌唱を聴いて歌詞の表す情景や心情、曲の雰囲気などをワークシートに記入し、学級全体で話し合わせる。また、音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、音楽の特徴をワークシートに記入させる。 第2時：歌詞と旋律の関係を感じ取り、旋律と強弱との関わりや伴奏の形や響きの変化などについて話し合わせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	京都府
28	第2学年	歌唱(3時間扱い)	ベートーヴェン「交響曲第5番」短調第1楽章	「交響曲第5番」短調第1楽章の曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：「動機」という単語を覚えるだけの学習にならないよう、動機をボディーパーカッションでリレーするなど実感を伴わせることで関心を持たせる。 第2時：曲想の変化をグラフで視覚的に表す。 第3時：グループで曲の批評文を発表し、感想を伝え合う。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	埼玉県

29	第2学年	歌唱（3時間扱い）	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 「夏の思い出」	語感を大切にしながら、歌詞の表す情景や心情と曲想との結び付きを感じ取って、主体的・対話的に曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。	第1時：範唱を聴いて印象を自由に話し合う。歌詞の表す情景や心情、曲の雰囲気などについて、個人、全体で話し、共有する。尾瀬の風景や歌詞の情景を想像する。 第2時：歌ったリズムを聴いたりして、旋律（音のつながりやフレーズ）や強弱を知覚・感受し、強弱や伴奏の変化がどのような効果を生み出しているかを感じ取る。鼻濁音について、さ行やや行について、など具体的な歌唱のポイントを抑える。友達同士で確認する。 第3時：言葉のまとまりや抑揚を感じ取りながら、日本語の語感を生かした表現に注目できるようにする。山や聞かせどころを自分で見つけ、掘り下げ、前時に学習したことを想起しながら、曲にふさわしい音楽表現となるようにグループや学級全体で発声、言葉の発音、体の使い方（呼吸法）を試す。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	山口県
30	第2学年	歌唱（3時間扱い）	2・3（上）／曲想を生かして表情豊かに歌おう。 ナポリ民謡「サンタルチア」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動をしながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：①日本語で歌い、旋律の流れや3拍子の特徴に関心をもち、曲想を伝える。 ②原語（イタリア語）で歌唱し、イタリア語の言い回しに興味を持たせる。 第2時：①強弱記号や演奏記号について理解することで、その効果に気づかせ、表現の工夫についてグループで話し合わせる。 ②イタリア歌曲の演奏を試聴して、「声の大きさ」と「表情の工夫（顔、視線、手など）」について自分たちがマネできることについて話し合わせる。 ③イタリア語と日本語と歌う時の違いや特徴について、互いに感想を伝えたりさせる。	神奈川県
31	第2学年	歌唱（3時間扱い）	曲想と歌詞との結び付きに注目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌おう。 「夏の思い出」	「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動をしながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	第1時：曲を聴き、思い浮かべた情景を言葉にする。音楽記号に着目しながら、曲を歌う。 第2時：「さいている」と「はるかなおせ」の部分を、どのように表現するためにどんな歌い方をしたいか考える。 第3時：どちらかを選び、実際に歌ってみる。歌いながら、工夫を加えたり変更したりしながら、より情景を表現できるように歌ってみる。	神奈川県
32	第2学年	歌唱（3時間扱い）	歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫しよう。 「夏の思い出」	「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情、曲の表情や味わいに興味・関心をもち、音楽活動をしながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	①歌詞の音読や模範演奏を聴き、音楽の雰囲気や特徴（速度、旋律の音のつながり、強弱等）に関心をもち、ワークシートに記入させる。 ②実際に歌唱しながら、曲の構造や歌詞の発音、楽譜に書かれている表現記号について気づいたことを発言やメモをさせる。 ③時に関心をもちた表現方法をひとつ選び理由も添えてワークシートに記入させる。 ④「みずばいしょうのはながさいている」と「はるかなおせ」とおいら」のどちらかを選び、その場面の心情とそれが伝わるような表現の工夫について考え、ワークシートに記入させる。 ⑤グループ学習で、自分の思いと表現方法を伝えて歌ってもらい、その演奏に対する助言を与えさせる。また、他者の表現方法にも関心をもちて歌わせる。 ⑥歌詞の内容や心情と歌の表現の工夫について、グループ学習を通して考えや演奏で深まったことをワークシートに記入させる。（振り返り）	神奈川県
33	第2学年	歌唱（3時間扱い）	曲想を生かして表情豊かに歌おう。 「サンタルチア」	3拍子の雰囲気を感じ取り、強弱を生かした表現の工夫や原語の美しい響きに関心的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	第1時：範唱を聴いて曲想を捉えたり、写真や地図を見たりしながら、これからの学習や曲に対する関心を高める。 第2時：音色、リズム、強弱、強弱を知覚・感受したことや他者の気付きなどを参考に歌う。 第3時：「サンタルチア」にふさわしい表現にするための歌い方の工夫を、グループで話し合いながら歌い試す。他のグループの工夫を聴いて一緒に歌う。 全時：振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	静岡県

34	第2学年	歌唱(3時間扱い)	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう。 「翼をください」	声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、他者と合わせて歌うことに親しむ。	第1時：「翼をください」の様々な演奏者の動画を聴き、曲への興味関心を高める。また、単旋律と合奏の形態の曲を聴くことで、ハーモニーで歌うことへの意欲を高める。 第2時：パートに分かれて他者に助言したり、他者の声の出し方を参考にしたりすることでパートでのまとまりをつくる意欲を高める。 第3時：曲想の違いやパートの役割はどのように表現すると良いか、グループに分かれて話し合わせる。	静岡県
35	第2学年	歌唱(4～5時間扱い)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 「夏の思い出」	歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	音程の確認、練習→音楽記号の確認、練習→言葉の意味や抑揚について確認→楽曲の内容や作曲の背景から、どのような表現がふさわしいかを考えさせる→毎時間の終わりに学んだこと、気付いたこと、難しかったこと、前回と比べてどう変わったか等振り返りシートに記入させる。	神奈川県
36	第2学年	歌唱(4時間扱い)	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、工夫して表現をしよう。 「夏の思い出」	曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、どのような表現の工夫ができるか、主体的、協動的に学習活動に取り組む。	第1時：曲想と歌詞の関わりについて、全体でイメージをもちながら音楽活動をする。 第2時：個々でICT機器を利用し、鑑賞することで、客観的なイメージをもつ。また、どのような表現の工夫があるか、話し合わせる。 第3時：パート内で合わせて歌うことで、それに対する具体的なイメージをもつ。 第4時：自分自身が曲と歌詞の内容にどのような意図をもって歌うのか、確認をしながら実技テストを行う。	埼玉県
37	第2学年	歌唱(4時間扱い)	「夢の世界を」	曲想の変化や、歌唱表現を工夫し、音の重なりを感じながら楽しむことができる。	第1時 範唱を聴き、曲に興味をもたせる。 第2時 音とりを中心に旋律の流れを身に付けさせる。 第3時 各パートごとに、正確に音とりができるように練習をする。 第4時 曲の構成を知り、曲想の変化を楽しみながら合唱をすることができる。	岐阜県
38	第2学年	歌唱(4時間扱い)	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう。 「翼をください」	テクスチャや強弱、リズムの変化による曲想や願いを強くもって突き進もうとする心情との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	第1時：曲との出会いの中で、音楽の要素と歌詞の内容とのつながりを知覚・感受するために小集団で意見交流をし、関心をもたせた。 第2時：パートの役割を意識させながら、正しい音程で歌う技能を身に付けた。 第3時：この曲にふさわしい歌唱表現にするためにどのように歌うとよいかについて小集団で話し合ったり、実際に歌って確かめたりした。 第4時：互いに聴き合いながら意見交流をし、繰り返し歌う中でこの曲を歌うのに必要な技能を身に付けた。 全時：授業の最後に本時を振り返り、ワークシートに記入した。	岐阜県
39	第2学年	歌唱(4時間扱い)	情景や曲想を感じ取って歌おう。 「夢の世界を」	歌詞が表す情景や心情に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	第1時：楽譜を見ながら曲の構成を把握する。 第2時：範唱を聴き、パート別に旋律の定着を図る。 第3時：歌詞からイメージされる感情や情景を思い浮かべる。 第4時：音楽を形づくっている要素を確認し、曲にふさわしい音楽表現を考える。 全時：授業の終わりに本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	新潟県
40	第2学年 第3学年	歌唱(4時間扱い)	2年「メッセージ」 3年「きみとともに」	歌詞の内容や語感と旋律の動き関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に表現活動に取り組もうとしている。(2年) 言葉の抑揚と旋律の動きの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に表現活動に取り組もうとしている。(3年)	・タブレットで録音することで客観的に自分の歌声を聴き、どのように歌ったらよいかを考えさせる。	京都府

41	第3学年	歌唱(4時間扱い)	混声3部合唱に親しもう。 「You Can Fly!」 「バッハベルのカノン」	・意欲的に音楽を聴いたり、歌ったりしている。 ・カノンの形式に関心をもち、それを生かした表現にするための方法を考えている。 ・パート練習に意欲的に取り組み、繰り返し練習している。	・鑑賞の観点やパート練習における練習の重点を示す。 ・旋律がどのようにして繰り返されているのかを音や映像で示す。	岐阜県
42	第3学年	歌唱	混声合唱を楽しもう。 「友よ」(コーニッシュ 作詞・作曲)	「友よ」の楽譜を見ながら自分のパートを確認し、演奏順や音取りをする活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・自分のパートの音とリズムを把握するために、ペンで旋律線を書き込むよう指示する。 ・自分で旋律線を書き込むのが難しい生徒にはタブレットPCで見本を配信し、同じように書き込むように指示する。 ・演奏順を把握できるように音楽をかけながら、全員で音楽記号の意味を確認する。 ・パートリーダーを中心として、全員が声を出して歌えるように支援する。 ・歌いにくそうな部分に関しては、イメージが掴みやすいように範唱する。	香川県
43	第3学年	歌唱	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう。 「花」	・2部合唱の響きを感じ取って、2人で歌い合わせることができている。	第1時：高音、低音どちらのパートも練習し、理解するように練習。 第2時：自分の声域に合うパートを選ぶように指導し、友達と歌い合わせた。 第3時：1つのパートは教師が担当し、もう一つのパートを生徒が担当し、ハーモニーを感じて歌った。	新潟県
44	第3学年	歌唱	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう。 「夏の思い出」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。		青森県
45	第3学年	歌唱	合唱コンクールに向けて。	話し合いにより、曲想を工夫できたか。	話し合いのポイントを示した上で、思考させる場面を設定する。	静岡県
46	第3学年	歌唱(2時間扱い)	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう。 「花」	「花」の魅力やその背景に感心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・「上河内の春を探そう」 タブレットを使用し、校内で春を感じる写真を撮影しクラスルームに投稿する。写真に題名をつけ、花の歌詞に照らし合わせてイメージをもって歌唱する。 ・「花」を歌おう イメージをもち、春の喜びや躍動感を出せるように歌唱する。	栃木県
47	第3学年	歌唱(3時間扱い)	情景を思い浮かべながら歌おう。 「花」	「花」の歌詞が表す情景や心情、曲の背景及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：作曲家や作詞者について深めるとともに曲の時代背景について考えて、実際に歌唱する。 第2時：歌詞と音楽が一体化しているところを探していく学習を通して、特に強調記号が曲にもたらしている影響について考える 第3時：3番の最後に着目させることによって、どのように表現をしたいか、また、思いを表現するために具体的にどのように歌うとよいか、グループで試行錯誤させながら、自分たちが納得のいく表現ができるように学習活動をさせる。その際に、タブレットでの録画や録音、お互いに聴き合ったりしながら意見を交換することによって、より積極的・継続的に学習に向かうことができる。	山口県

48	第3学年	歌唱(4時間扱い)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合唱しよう。 「花」	「花」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	パート練習及び合わせ練習を含む全ての場面において主体的に意見を述べ、またはいかに自分・集団の演奏がより良くなるかを考え実践することができる。	第1時：歌詞の内容や曲想に関心をもつ。2つの旋律を正確に歌えるようにする 第2時：作詞・作曲者について知る。音楽的な構造を学び、音楽表現に生かす。 第3時：グループごとに表現方法の工夫に取り組み。 第4時：グループごとの発表を聴き、歌唱表現の工夫を学び合う。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	埼玉県
49	第3学年	歌唱(4時間扱い)	合唱祭クラス曲 「虹」「はじまり」「青い鳥」 「言葉にすれば」	パート練習及び合わせ練習を含む全ての場面において主体的に意見を述べ、またはいかに自分・集団の演奏がより良くなるかを考え実践することができる。	観点A評価になるように生徒を指導するにあたって、自分の意見を積極的に提示し、それをパート練習の時間の中でリーダーを中心に意見を出したることにつながることを指導し、実際にパート練習の時間を作っている。	埼玉県	
50	第3学年	歌唱(4時間扱い)	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう。 「花」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：範唱を聴いて、曲の雰囲気やリズムを文章でまとめさせた。またメロディを歌い習得させるとともに、歌詞の意味や七五調などのリズムを理解した。 第2時：16分休符やリズムに注目し、作曲者がこの曲に込めた思いを考えた。 第3時：第1時にて感じた曲の雰囲気を歌唱で表現しようと、グループで工夫点を話し合わせた。また、グループごとに練習を行なった。 第4時：自分たちの演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりさせた。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	埼玉県	
51	第3学年	歌唱(4時間扱い)	歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう。 「花」	・歌詞の表す内容について理解し思いをはせ、その情景を思い浮かべようとする。 ・歌唱の表現の仕方について、楽譜に記載されている16分休符や、強弱について理解し、表現しようとする。 ・二部合唱として、他パートとのハーモニーや同パートと声を合わせて歌唱しようとする。 ・実技試験として、伴奏に合わせて上パートと下パートで、工夫して表現しようとする。	第1時：鑑賞(歌詞からイメージさせる) 第2時：歌詞の内容確認 第3時：歌唱フレーズごとに範唱し、旋律を理解させる。 第4時：楽曲の記号や注音符について説明し、パートごとに練習させて、定着を図る。 第5時：発想標語や歌詞の言葉を大切にしたい歌い方など、考えて歌わせる。 第6時：合唱として曲をまとめる。 第7時：実技試験 第8時：振り返りは毎時間「自己評価カード」に記入させる。(毎時間「ねらい」も記入)	新潟県	
52	第3学年	歌唱(5時間扱い)	合唱曲「君と見た海」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	授業の始めにねらいの確認をし、授業後に振り返りを毎時間行う。(タブレットを活用)また、全時を通してロイノートの座標軸を活用し、自分がどのように成長したかを毎時間追加していくことによって自分の成長を可視化し、振り返りを生かして次時への意欲に繋げた。	京都府	
53	第3学年	歌唱(2時間扱い)	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう。 「花」	曲想と歌詞の内容及び曲の関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	第1時：歌詞を読みだり曲を歌ったりすることで、歌詞が表す情景や曲の雰囲気と、音楽を形作っている要素との関わりを考え、グループで話し合わせる。 第2時：第1時にグループで話し合ったものを発表し合って学級で共有し、それらを生かして歌唱表現を工夫させる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	静岡県	

54	第3学年	歌唱（2時間扱い）	詩や曲の背景を理解して歌おう。 「花の街」	詩や曲の背景を理解し、そこに込められた思いを生かした歌唱表現や美しい日本の「心の歌」に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：「作詞者の言葉」や「作曲者の言葉」をもとに、当時の時代背景を理解するとともに、歌詞の内容や曲想に関心をもち、歌詞の「心の歌」に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 第2時：強弱記号に込められた意味を個人で考え、自分の考えをもとにグループで話し合い、曲にふさわしい歌唱表現について考えさせる。 第3時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	山口県
55	第3学年	歌唱（3時間扱い）	情景を思い浮かべながら、込められた思いや言葉を大切に歌おう。 「花」	詩を大切にしながら旋律や強弱に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組んでいる。	第1時：1番と比較し、2・3番の旋律やリズム、強弱の違いがあることに関心をもてるようにする。 第2時：違いがある理由をグループで話し合い、意識して歌えるようにする。 第3時：タブレットを活用しながら、グループで情景や思いを大切にしながら表現を追求できるようにする。	岐阜県
56	第3学年	歌唱（3時間扱い）	曲想を生かして表現豊かに歌おう。 「帰れソレントへ」	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	エンディングの8小節間（帰れ君へ）の部分を2～3人でグループ学習をする。 課題1：2つのフェルマータの長さの違いをどうするのか。 課題2：アクセントをつけるための腹筋の使い方。 課題3：最後の伸ばす音をどう響かせて表現するか。 それぞれの課題について、どう表現するか、その理由、注意することを考えさせる。 タブレットで録音録音（テイク10）する中から、ふさわしい表現や注意点を引け出させる。	埼玉県
57	第3学年	歌唱（3時間扱い）	曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌おう。 「帰れソレントへ」	歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：「帰れソレントへ」の歌詞が表す情景や心情の味わいなどに興味を持つ。 「帰れソレントへ」の節唱を聴き、カンツォーネに関心を持つ。歌詞の内容や、転調などを感じながら、イタリア語で歌う。 第2時：「帰れソレント」をどのように歌うかについて思いや意図を持つ。 調や強弱、速度の変化をどのように表現したらよいか、ワークシートに書く。最後の盛り上がり部分は、周りの人と相談しながら考える。表現の仕方を言葉で発表するだけでなく実際に歌って表現する。 第3時：創意工夫を生かして、「帰れソレント」を歌う。 自分で考えた表現や、周りの人の考えを聞いてやってみようと思った表現をまとめ、自分なりに表現を工夫して歌う。 パパロツティが歌う「帰れソレントへ」を聴き、どのように表現しているか感じ取る。	千葉県
58	第3学年	歌唱（4時間扱い）	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう。 「花」	歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：歌詞にどのような情景や思いが込められているのかを把握し、関心を持たせる。 第2時：「旋律の動きや強弱記号」と「歌詞」とのかかわりを把握し、作曲者の意図を考えながら練習する。 第3時：「花」にふさわしい歌唱表現にするために、個別で思考した後、グループで話し合わせ練習する。 第4時：自分の演奏を録音で確認し、演奏を振り返る。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	北海道

59	第3学年	歌唱 (4時間扱い)	歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう。 「荒城の月」	「荒城の月」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：「荒城の月」の歌詞を音読したり、歌ったりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などを学習シートに記入し関心をもたせる。 第2時：「荒城の月」について知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の特徴と歌詞の内容とを関わらせて歌う。 第3時：速度、旋律、強弱を知覚・感受し、「荒城の月」の曲想や歌詞の内容を味わい、音楽の構造との関わりを踏まえて曲にふさわしい音楽表現を追求する。 第4時：思いや意図と発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループや学級全体で歌う。	神奈川県
60	第3学年	歌唱 (4時間扱い)	歌い継ごう 日本の歌〜情景を思い浮かべながら、言葉を大切にしながら歌おう。 「花」	「花」の歌詞が表す情景や心情、曲の背景及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：「花」についての印象をまとめる。高音パート・低音パートの旋律を確認する。 第2時：「花」についての印象や歌詞や音楽の特徴から感じ取ったことを共有する。情景を思い浮かべ、この曲にふさわしい歌唱表現につなげる。 第3時：「花」にふさわしい歌唱表現を追求し、どのように合わせて歌うかについて、思いや意図をもって合唱する。 第4時：学習のまとめとして、次の2点についてワークシートに記入させる。 ①学習全体をふり振り返り、授業での学習内容をふまえて学んだことについてまとめる。 ②「花」のよさや魅力など学習して感じ取ったことをふまえながら、「現在まで長く歌い継がれ、親しまれている日本の歌を学習する」意味について考えたことをまとめる。	神奈川県
61	第3学年	歌唱 (4時間扱い)	詩を味わい情景を思い浮かべて表現を工夫しよう。 「花」	「花」の歌詞が表す情景、曲の雰囲気や特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：歌詞を読んで歌う、を1番〜3番まで繰り返す。それぞれの旋律の特徴をつかみながら歌唱し、曲の雰囲気をとらえさせる。 第2時：歌詞が表す情景を表現するために、表現記号と歌詞の内容についてグループで情報共有したり意見交換したりする。 第3時：歌詞と表現記号の関連について個人で思考させ、その後グループワークで他者の考えを知り、自分の考えと比較したり統合したりする。 第4時：前時で考えたことを歌唱表現するために、ペアで練習しアドバイスしあう。 第5時に歌の実技テストを一人ずつ行う→技能) 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	神奈川県
62	第3学年	歌唱 (6時間扱い)	ア・カペラの響きを味わいながら、曲想豊かに合唱しよう。 合唱曲「ぜんぶ」	ア・カペラによる歌声の豊かな響きや音色、テクニカルな手立てを追求するとともに、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に合唱活動に取り組む。	1時：ア・カペラの合唱曲を鑑賞し、そのよさや響きを味わい、ア・カペラの合唱について関心をもたせる。今の自身の歌声について、よさと課題点を見つける。「ぜんぶ」の鑑賞をし、楽譜に気づいたことを書き込む。 第2〜4時：「ぜんぶ」のパート練習をする。練習番号ごとに歌いながら、楽譜に書いてある記号等を確認し、どのような発声で歌うべきかを考えて実践する。最後に合唱し、ふさわしい歌唱表現（発声）ができてきているか、よりよくするために話し合う。 第5時：曲の最後までア・カペラで合唱する。タブレットで録画し自分の演奏を振り返ったり、他のパートの演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。 第6時：合唱テストの実施。テストを録画し、自身やパートの学習の成果を振り返るとともに、豊かな発声のために必要なことやア・カペラ合唱のよさをまとめる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、自己評価カードに気づきを記入させる。	埼玉県
63	第3学年	歌唱 (8時間扱い)	パートの役割を理解して、仲間とともに表情豊かに合唱しよう。 混声三部合唱「群青」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：曲を聴き感じたことを考えるとともに、どんな合唱にしたいか目標を立て合唱に対する関心をもたせる。 第2時：音楽の構造を説明しあううえで、サビの中で一番盛り上がる部分をパート毎に考えさせる。	栃木県

64	第3学年	歌唱（8時間扱い）	<p>声が響き合う美しさを味わいながら合唱しよう。 合唱曲「友 ～旅立ちの時～」</p>	<p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫しようとしている。</p>	<p>【第1～3時】…歌詞や音楽の構造の理解。パート練習での音取り。 ・始めに歌詞の内容や作曲者について概要を知り、表現したいイメージをもつ時間を設けた。 ・身体の使い方や音取りのこつなど、パート練習を回って助言をしたり手本を見せたり、一緒に練習に参加したりした。 【第4～7時】…合わせる練習とパート練習の繰り返し。曲にふさわしい表現を考える。 ・合わせ練習の中で、出来ていることや前回よりうまくなくなったことを価値づけ、出来ていないことは次回以降生かすためメモを取るよう声を掛けた。 ・合わせながらテクスチャアやハーモニーなどの構造を確認し、自分たちの役割を理解したり曲のイメージを膨らませたりして、曲にふさわしい表現を考える機会をつくった。 【第8時】 ・卒業式での合唱に生かすため、本番でうまく歌えたかだけでなく、練習過程も踏まえて、取り組みを振り返るワークシートを用意した。 【全時】 ・授業の最後に本時の振り返りと次回の目標を記入するワークシートを用意した。 ・授業の始めに、パートごと本日の目標を決め、ホワイトボードに書いて1時間掲示した。</p>	静岡県
65	7年（第1学年） 8年（第2学年） 9年（第3学年）	歌唱（3時間扱い）	<p>7年「主人は冷たい土の中に」曲の構成を感じ取り、リコーダーを入れてアンサンブルの練習をした。 8年「翼をください」パートの役割を理解し、ふさわしい表現を工夫し練習した。 9年「花」情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合唱練習をした。</p>	<p>7年：曲想と音楽の構造、時代背景にも関心を持ち、フォスターの他の曲にも興味を示し、歌った。</p>	<p>第1時：曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 第2時：ハ長調の音階を理解し、旋律、強弱、形式を理解する。歌とリコーダーの練習をする。 第3時：歌とリコーダーで合わせてアンサンブルを体験。時代背景を理解し、フォスターの他の曲も歌ってみる。農園の主人と働いている人の気持ちから、亡くなった主人への想いを想像する。</p>	神奈川県
66	全学年	歌唱（7時間程度扱い）	<p>学級で協力して、合唱曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 教材はそれぞれの学級の選択曲</p>	<p>それぞれの合唱曲の音楽的な特徴を理解し、合唱活動を楽しみながら主体的・協働的に練習に取り組むとともに、作者の思いを自分なりに考えながら、粘り強く合唱に取り組む。</p>	<p>第1時：移動ドですべてのパートに階名を書かせることで、斉唱の部分、わかれている部分、和音の種類を階名で理解させる。また、この曲で作者が伝えたかったことはなにか、そのためにどんな工夫や仕掛けがあるのか、考えさせながら合唱に取り組むことを伝える。 第2～4時：アルト、男声、ソプラノの順に、階名で全パートの音取りをする中で、自分の声にあった高さを見つけさせ、自分でパートを決めさせる。 第5～7時：パートにわかれて階名で合唱をする中で、困っているパートがあれば、その部分だけパートを変わるなど、より良い合唱曲になるように自分たちで工夫させる。また、録音録画をしたり、リーダーに聞かせたりし、自分たちで課題を見つけさせる。 全時 合唱楽譜に気づいたことや課題を書き込ませることで、自分の合唱の足跡を残す。 合唱コンクール後の歌唱テスト時 合唱活動を通して、自分が成長したと実感していること（声域が広がった、他のパートを聞きながら歌えるようになった など）、今後はどんなことを目標にしたいかを、歌唱テストの評価表に書かせる。</p>	香川県

67	全学年	歌唱（3時間扱い）	歌唱（校内合唱コンクール課題曲 「夢の世界を」）	歌詞の内容や曲想に興味・関心を持ち、主体的・協働的に楽しみながら音楽追究活動に取り組む。	第1時：歌詞の解釈を個で行った後、グループ内で意見交換をしながら、歌詞理解を深めていく。 第2時：パート毎の練習で音楽記号に目を向け、作曲者のメッセージを読み取り、曲想を感じながら表現を深めていく。 第3時：歌詞や音楽に込められている思いを聞き手に伝わる表現になるよう、パートやクラスで話し合ったり、鑑賞し合ったりして工夫していく。 * 前時において、授業のはじめに個人課題やパート課題、クラス課題を、授業終わりには振り返りを自己評価表に記入し、学びの変容・発展をみとった。さらに鑑賞し合っているときの動画撮影、パート練習中の動画撮影（ペアで動画撮り等）も主体的に学習に取り組む態度の評価材料となった。	静岡県
68	全学年	歌唱（4～5時間扱い）	「夢の世界を」 「時の旅人」 「あなたへ」	合唱の響きや声部の関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 合唱中に学んだこと、気付いたこと、今日できるようになったこと、次回の目標を記述することができた生徒にはB、さらに次回の練習中にこうしたい、等学習の調整をはかり実行した、ということがわかる記述の生徒にはAを与えた。	授業開始時に、目標を明示するとともに、前回の振り返りを配布して確認させた。 記入前には、今日の授業の振り返りをクラス全体でも行った。 話し合いの時間、意見の共有の時間は毎時間行った。	東京都
69	全学年	歌唱（5時間扱い）	合唱コンクールの課題曲 自由曲	自分で課題を見つけて、それに対しての改善方法を考えることができているか。	ワークシートを作り、ポイントを表示し、できたかできていないかを簡単に記入させる。 実際にパート練習を行い、各班で意見を出し合い、気づいたことを記入 全体の演奏を聴き各パートの課題を見つける→改善策を話し合う 個人の演奏戻し、1人ひとりの課題を考えさせ、技能、表現につなげる。	大阪府
70	第1学年	歌唱・鑑賞（3時間扱い）	（半年後の合唱祭に向けて）合唱 曲を選ぼう。 中学1年生の実情にふさわしい思 われる合唱曲十数曲	合唱曲の音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって聴くことができるようになる。主体的に鑑賞の学習に取り組む、合唱に親しむとともに、自分たちの取り組む合唱によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	予め歌唱共通教材を通して、歌に親しんでおく。 興味を持ってそうな曲、関心のありそうな曲を候補曲に選ぶ それぞれの合唱曲を何度が聞かせながら、曲に関して参考になると思われる情報を伝える。 曲ごとに気づいたことや感じ取ったことをワークシート記入させ、最後に、合唱祭に対する意気込みを述べさせる。 生徒の様子を見て、記入が滞らないように声掛けなど。	静岡県

71	第3学年	歌唱・鑑賞（6時間扱い）	音楽を越えた表現を追究しよう。 合唱曲「ヒカリ」 鑑賞「アルタバ」	合唱曲や鑑賞曲の音の重なりや、音色の変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組む。	第1時：音の重なり方や歌詞などの楽曲の特徴に気付かせて、曲についての関心をもたせる。 第2時：歌詞や各声部や全体の響きに注目しながら、様々な歌い方を試したり、グループで話し合わせる。 第3時：前時の部分と本時の部分を比べながら、様々な歌い方を試したり、グループで話し合わせる。 第4時：自分の演奏を振り返る。 第5時：実際に音楽を聴いて、楽器の音色や音の重なりなどの音楽の特徴を知るとともに、楽曲についての関心をもたせる。 第6時：楽曲の背景について知るとともに、楽曲の良さについて感じたことをワークシートに記入させる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	岐阜県
72	5年生	歌唱（2時間扱い） 器楽（3時間扱い）	曲想の変化を感じ取ろう。 歌唱「夢の世界を」 器楽「キリマンジャロ」	曲想と歌詞の内容や旋律、リズム、強弱などとの関わりに興味・関心をもち、曲想の変化を感じ取って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。（歌唱） 曲の構成や曲想の変化に興味・関心をもち、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して演奏学習に主体的に取り組もうとしている。（器楽）	第1時：範唱を聴いて、旋律の動き、リズム、強弱、音色などの共通事項をもとにして聴き取り、アとイの曲想の違いを感じ取らせる。 第2時：アとイの曲想の変化を感じ取り、どのように表現するかについてグループで話し合い、工夫して歌うことができるようにする。話し合いの前と話し合いの後の演奏を録音をし、表現ができたか確認させる。 第3・4時：それぞれのパートの練習をすることで、楽器やそれぞれの旋律の特徴を感じ取り、自分で演奏したい楽器を選んで練習できるようにする。 第5時：録音した演奏を聴くことで自分たちの演奏を客観的に鑑賞し、工夫したことが演奏に反映しているかどうか考えさせる。 *歌唱の学習では、iPadを使用して演奏の録音をしたり、自分の考えや話し合ったことを書き込ませ、評価するようにした。また、毎時間振り返りをさせた。	埼玉県
73	中学校 全学年 小学校 3～6年	歌唱（4時間扱い） 器楽（3時間扱い） 鑑賞（3時間扱い）	歌唱「花」滝廉太郎の生涯をタブレットPCで検索したり、グループワークしたりさせた。 器楽「アルトリコーダーによる独奏・2重奏・5重奏」「ハナミズキ・鳥唄・もののけ姫」運指表を自分・ペアで作成し、授業3分前練習など、計画させた。 鑑賞「春」「小フーガ短調」「アイーダ」のそれぞれの魅力を探究し、ワークシートにまとめる。【小学校も既習の中で同じ、構成で実施】	それぞれの時間で、生徒たちの発言から課題設定を意識して、関心や意欲をより高めさせるきっかけを準備し、自主・協働的にできるように個人・ペア・グループ活動・発表会などを多数設けている。子どもたちが、自ら音楽活動を楽しみ、思考・活動とスキルアップできているかを確認。	・課題設定。【子どもの発言から】 ・授業内（毎回）でのペア・グループ内の活動。 ・自己評価カードの記入。 ・自己評価カードの記入。 ・毎時間の振り返りと次時予告。	香川県

74	中学校 全学年 小学校 3～6年	歌唱(4時間扱い) 器楽(3時間扱い) 鑑賞(3時間扱い)	歌謡「花」滝廉太郎の生涯をタブレットPCで検索したり、グループワークしたりさせた。 器楽「アルトリコーダーによる独奏・2重奏・5重奏」「ハナミズキ・鳥唄・もののけ姫」運指表を自分・ペアで作成し、授業3分前練習など、計画させた。 鑑賞「春」「小フーガ短調」「アイーダ」のそれぞれの魅力を探究し、ワークシートにまとめ、【小学校も既習の中で同じ、構成で実施】	それぞれ時間で、生徒たちの発言から課題設定を意識して、関心や意欲をより高めさせるきっかけを準備し、自主・協働的にできるように個人・ペア・グループ活動・発表会などを複数設けている。子どもたちが、自ら音楽活動を楽しみ、思考・活動とスキルアップできているかを確認。	・課題設定。【子どもの発言から】 ・授業内(毎回)でのペア・グループ内の活動。 ・自他の意見交流の場、設定・準備。 ・自己評価カードの記入。 ・毎時間の振り返りと次時予告。	香川県
75	第1学年	器楽(3時間扱い)	アーティキュレーションを工夫して表現豊かに演奏しよう。 アルトリコーダー「聖者の行進」	「聖者の行進」の曲想を感じ取ってリーダーの奏法を工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	第1時:アルトリコーダーの運指や息の使い方、アーティキュレーションを習得させる。 第2時:タンギングやアーティキュレーションを創意工夫し、表現豊かに演奏させる。 第3時:他者の音や演奏の仕方をよく聴き、合わせて演奏させる。	埼玉県
76	第1学年	器楽(5時間扱い)	箏について学ぼう。 「さくらさくら」	箏に関する歴史や基本的な知識を身につけ、音楽活動を楽しみながら箏に触れる。 日本の伝統楽器である箏の音色の特徴を感じ取りながら伝統音楽に親しむ。	教え合い、確かめ合いながら学習できるようにグループ活動とする。 楽器が苦手な生徒が、演奏することに対する抵抗感をできる限り減らせるように工夫する。(糸の名前の表示、選曲、難易度等)	新潟県
77	第1学年	器楽	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう。 和楽器 箏「さくら」 「六段の調」	楽器の音色や響きと奏法の関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	楽器の構造や音色に興味を持たせるために、演奏することを通して良さや違いを感じとる。 他者の演奏を聴き、互いに助言することによりよい演奏にしようとする。	千葉県
78	第1学年	器楽(3時間扱い)	箏の演奏を通して、和楽器の音色に触れよう。 「虫づくし」「姪松」等	楽器の音色や響き、奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に取り組もうとしている。	・箏曲「六段の調」を鑑賞し、音色や奏法に関心を持たせる。 ・実際に箏に触れ、様々な奏法を体験させる。 ・「虫づくし」「姪松」等を演奏し、音色や奏法から感じたことをグループで交流する。 ・毎時間学習の記録を記入し、振り返りする。	京都府
79	第1学年	器楽(3時間扱い)	両手の運指に気を付け、フレーズを意識して演奏する。	両手の運指を使い、曲のフレーズを感じながら主体的に器楽の学習に取り組む。	器楽のテストに向けて毎回の授業で自ら目標を設定し、振り返りをする中で自分の課題と改善する手立てを考えさせ振り返りシートに記入させた。	京都府
80	第1学年	器楽(3時間扱い)	曲想を感じ取って器楽表現を工夫しよう。 「喜びのうた」「かっこう」	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	第1時:リーダーの発音の仕組みや基礎的な演奏技法について理解し、アルトリコーダーのよさについて関心をもたせる。 第2時:ペアをつくり、互いに練習のアドバイスをを行い、協働的な学びを支える基礎的な演奏技能が身に付くようにした。 第3時:ペアでアーティキュレーションを考え、うまくいかないときには他のペアや教員からアドバイスをうけ、自分たちで調整しながら演奏に取り組ませた。	山口県

81	第1学年	器楽(3時間扱い)	曲想を感じ取って器楽表現を工夫しよう。 「喜びのうた」「かっこう」	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	第1時:リコーダーの発音の仕組みや基礎的な演奏技法について理解し、アルトリコーダーのよさについて関心をもたせる。 第2時:ペアをつくり、互いに練習のアドバイスをし、協動的な学びを支える基礎的な演奏技能が身に付くようにした。 第3時:ペアでアーティキュレーションを考え、うまくいかないときには他のペアや教員からアドバイスをうけ、自分たちで調整しながら演奏に取り組ませた。	山口県
82	第1学年	器楽(3時間扱い)	箏の音色を感じながら、和楽器: 箏の特徴を理解して演奏しよう。 箏曲「さくらさくら」	箏の音色や特徴、日本らしい音楽を演奏することに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽(和楽器)の学習活動に取り組もうとしている。	第1時: 箏の構造や奏法を知るとともに教師の範奏を聴いて、箏の音色に触れる。 第2時: 箏を演奏するために必要な奏法を習得するために一人一人取り組む時間を設定し、他の生徒のアドバイスを参考にしながら練習するグループ活動の時間を設定する。 第3時: 自分の演奏を振り返りながら、必要な奏法や演奏技能についてグループで話し合う。 全時: 授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	新潟県
83	第1学年	器楽(3時間扱い)	箏曲の歴史や構成、楽器の特徴を理解して演奏しよう。 箏曲「六段の調」、箏曲「さくら」	箏曲の歴史や構成、楽器の特徴に関心を持ち、楽しみながら主体的に和楽器の演奏に取り組むとともに、日本の伝統音楽に親しむ。	第1時: 「六段の調」を鑑賞し箏の音色や奏法について理解を深め箏の音色に興味をもたせる 第2時: 三曲合奏について理解させ、箏、三味線、尺八(胡弓)などもあわせて紹介してから、箏の実技指導を行う。箏で「さくら」の練習をする。 第3時: 箏で「さくら」を練習し、グループで鑑賞し「審査カード」に記入する 全時: 授業の最後に振り返りを行い、「振り返りカード」に記入させる	栃木県
84	第1学年	器楽(3時間扱い)	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう。 箏曲「さくらさくら」	楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	第1時: 音程を合わせる活動について主体的・協動的に学習に取り組み、箏に関する構造や奏法を理解させ、関心をもたせる。 第2時: グループになって奏法を確認する中で、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けさせる。 第3時: 自分の演奏や他者の演奏を聴き、感想を伝え合いながら、振り返りを行う。	京都府
85	第1学年	器楽(3時間扱い)	楽器の音色の違いを感じ取り、リコーダーの特徴を理解して演奏しよう。	リコーダーの構造や奏法による音色の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組む	第1時: 実際に音を出して試すなどして、リコーダーの音色、構造や奏法・歴史を知るとともに、体験しながら関心をもたせる。 第2時: 演奏するために必要な奏法を、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けさせる。 第3時: リコーダーにふさわしい器楽表現にしよう、グループで奏法について話し合わせる。 全時: 授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	香川県
86	第1学年	器楽(3時間扱い)	楽器の音色を感じ取って、ギターの特徴を理解して演奏しよう。	ギターの構造(楽器の構造や奏法、音色や響き、よさ)に関心を持ち、基礎的な奏法(ストローク奏法や左手のポジション)で演奏する学習に主体的に取り組むとともに、ギターに親しむ。	第1時: 実際にギターに触れる、音を出してみるなどして、ギターの音や構造に慣れ、体験するなどして関心を持たせる。 第2時: ギター演奏に必要な姿勢や構え方をし、また教員から指導を受けるなどしながら、身に付けさせる。 第3時: 模範演奏を聴いたり、自分の演奏を他に聞いてもらったりして、振り返りをする。	静岡県
87	第1学年	器楽(3時間扱い)	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう。 アルトリコーダー「喜びの歌」	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	第1時: アルトリコーダーの構造や奏法を知るとともに、実際に音を出して関心をもたせる。 第2時: 「喜びの歌」を演奏するために必要な奏法を、他者との演奏を聴き合い参考にしながら身に付けさせる。 第3時: 曲想にふさわしい器楽表現をするために、他者の演奏を聴いて感想を伝えさせる。 全時: 授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	千葉県

94	第1学年	器楽（4時間扱い）	箏曲のよさや美しさを味わいながら、楽しく箏曲を演奏しよう。 箏曲「六段の調」	箏の音色、引き色や後押しなどの奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の伝統音楽に親しむ。	箏の音色や速度、旋律の美しさを感じ取り、実際に箏に触れ、関心を持たせる。 第2時：箏の構造を理解し、右手と左手の奏法の違いを感じ取り、奏法について理解させる。 第3時：ペアになり、お互いの演奏を振り返り、感想を発表させる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、感じ取ったことをワークシートに記入させる。 *【中学生の音楽?研究編】教材研究（指導と評価の計画の例）参照	山口県
95	第1学年	器楽（4時間扱い）	曲にふさわしい器楽表現を工夫して演奏しよう。 アルトリコーダー	リコーダーの奏法に関心をもち、自ら工夫して奏法を身につけ、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。	第1時：タブレットに入れた模範演奏の動画を参考に、教材曲の選択をさせ、個人目標を設定させる。 第2時、第3時：タブレットの動画を参考にして、主体的に練習を進める。他者に助言をしたり他者からの助言を参考にしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を工夫する。 第4時：授業の最後に各自の演奏の動画をタブレットで提出させるとともに、本単元の振り返りを行い、「どのような器楽表現の工夫をしたか」などについてワークシートに記入させる。	千葉県
96	第1学年	器楽（4時間扱い）	左手の運指やアーティキュレーションに気を付け、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しよう。 アルトリコーダー「聖者の行進」	アルトリコーダーの運指や奏法に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともにハーモニーを感じとる。	第1時：実際に音を出して試すなどして、小学校で学習したソプラノリコーダーとの違いを体験しながら関心をもたせる。 第2時：「聖者の行進」に必要な奏法をアーティキュレーションを使って工夫し身に付ける。 第3時：ペアでそれぞれのパートを演奏し、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けさせる。 第4時：曲にふさわしい表現を工夫し、また、他のペアの演奏を聴き、合奏の響きの美しさを感じとることができる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、次の課題を見つける。	岐阜県
97	第1学年	器楽（5時間扱い）	箏の特徴を生かして、器楽表現を工夫しよう。 箏「さくらさくら」	箏の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとしていく。	第1時：実際に音を出して試すなどして、箏の音色、構造や奏法を知るとともに、体験をしながら関心をもたせる。 第2・3時：3人1グループで、箏および「さくらさくら」を演奏するために必要な奏法を、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けさせる。 第4時：自分の演奏を工夫したり、グループのメンバーの演奏を聴いて感想を伝えたりして、曲にふさわしい表現に仕上げさせる。 第5時：演奏の発表を行ない、自分の演奏を振り返ったり、グループのメンバーの演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	埼玉県
98	第1学年	器楽（5時間扱い）	「クラッピングラソソディ第一番」	音譜や休符の長さを理解し、仲間とハンドクラップのアンサンブルを主体的・協働的に作り上げる。	第1時：タブレットに入れた模範演奏の動画を参考に、教材曲の選択をさせ、個人目標を設定させる。 第2時、第3時：タブレットの動画を参考にして、主体的に練習を進める。他者に助言をしたり他者からの助言を参考にしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を工夫する。 第4時：授業の最後に各自の演奏の動画をタブレットで提出させるとともに、本単元の振り返りを行い、「どのような器楽表現の工夫をしたか」などについてワークシートに記入させる。 第5時：他のグループの発表を見て、良いところやアドバイスをワークシートに書き込む。 全時：練習の振り返りと個人の振り返りをワークシートに記入させる。	静岡県

99	第1学年	器楽（5時間扱い）	日本の伝統音楽に親しもう。～箏の音楽～ 「六段の調」 「さくら」	箏の音楽の特徴について理解し、日本の伝統音楽に親しむ心情を育むとともに、箏の音色の美しさを味わいながら演奏することができる。	第1時：「六段の調」を鑑賞し、曲や箏の魅力について知る。 箏の基本的な知識を学習する。 第2時：箏の基本的な奏法を身に付ける。 第3時：前時の授業を振り返り、正しい奏法に気を付けながら、グループで「さくら」の練習を行う。 第4時：「さくら」に合う装飾を加えたオリジナルのさくらを創作する。 第5時：箏の音色を味わいながら演奏し、オリジナルのさくらを発表する。	栃木県
100	第1学年	器楽（7時間扱い）	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう。 和楽器 箏 「さくらさくら」	箏の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に箏の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：箏の名称など基礎知識を教える。 第2時：基本的な姿勢をできるようにする。 第3時～7時：さくらさくらを弾けるようにする。難易度別に級を分け、合格ラインを設けることで、演奏技術を取得したいという気持ちを育て、主体的・協働的に取り組めるようにする。	埼玉県
101	第1学年	器楽（7時間扱い）	題材名：アルトリコーダーのアンサンブルで幸せを演出しよう。 教育芸術社、中学生の器楽P28 『ラヴアーズコンチェルト』	アーティキュレーションの使い分けによって自分たちが考える「幸せな場面・シチュエーション」を表現するためにグループでアンサンブルをつくっていくことができる。	第1時：アルトリコーダーについて知る 第2時：アーティキュレーション、アンサンブルについて知る 第3～5時：グループでアンサンブルをつくる 第6時：幸せ披露会の開催（アンサンブルの発表会） 第7時：まとめ ※「アーティキュレーションの工夫をしたアルトリコーダーのアンサンブルで幸せいっばいな空間を演出しよう」というパフォーマンス課題を設定しています。『ラヴアーズコンチェルト』を使ってグループでアンサンブルをつくります。自分たちが考える「幸せな場面やシチュエーション」を表現するために、曲のどこにどんなアーティキュレーションをつけて演奏するとよいか考えてアンサンブルをつくります（6時で発表）	大阪府
102	第1学年	器楽（8時間扱い）	クラシックギター 楽曲「喜びの歌」 「かっこう」 「オーラリー」 「大きな古時計」	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ・正しい姿勢や構え方を確認し合い、2つの奏法の違いを感じ取るうとしている。 ・ギターの音階の仕組みを覚えて意欲的に挑戦しようとしている。 ・簡単な旋律の楽曲に意欲的に挑戦しようとしている。	正しい姿勢や構え方をお互いに見合っ指し合っことで、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けさせる。また、アポヤンド奏法やアルアイレ奏法による実践を通して楽器の音色や奏法を知るとともに、体験しながら関心をもちさせる。音階の仕組みや簡単な旋律の楽曲では、自分の演奏を振り返ったり、他者の演奏を聴いて感じたことを伝えさせたりする。授業の最後に振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	静岡県
103	第1学年 第2学年	器楽（2～3時間扱い）	箏の音色を感じ取ろう。	箏の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第2～3時：箏を演奏するために必要な奏法を、自分の演奏順番ではないところで紙箏で貼り強く練習したり、グループ内で他者に奏法を助言したりなど教え合いで身に付けさせる。	神奈川県

104	第2学年	器楽【和楽器】 (4時間扱い)	箏曲「さくら」のアンサンブルをしよう。	音色や奏法など、日本の音楽文化に親しみながら、その良さを生かした表現の工夫ができる。	箏曲の指導者を招き、基本を教えていただいたり、音色の美しさを味わったりした。2人に一面の箏を確保し、箏に触れる機会を多く設けた。協働的作業をすることで、楽しみながら取り組める雰囲気作りを行った。	香川県
105	第2学年	器楽(3時間扱い)	アルトリコーダーを演奏しよう。 「オーラリー」	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：姿勢や息づかい、タンギング、運指の確認 第2時：階名唱、タンギングの低音・中音発音、運指 第3時：曲にふさわしい表現を考える、アーティキュレーション アーティキュレーションの違いを意識させた上で実際の曲にどうつながっていくかを意識させた。スタートカードを使うところがあるよりわくわくするなど、の意見を取り入れて演奏をさせた。	青森県
106	第2学年	器楽(3時間扱い)	どのような奏法で演奏すれば曲のよさが引き出せるだろう。 アルトリコーダー「喜びの歌」	どのようなアーティキュレーションで工夫した表現をすればいいのか考えながら奏法したことを振り返りに記入されている。	第1時：わが国の音楽の継承方法に関心をもち、様々な方法を試したり、吟味したりして、主体的に活動するとともに、口唱歌の体験を通して、日本伝統の音楽文化に親しませる。 第2時：篠笛の音の出し方や、指使いについて、粘り強くしゅうに取り組むとともに、より良い吹き方を模索したり、周囲と協働的に練習に取り組んだりさせる。 第3時：自分の演奏を振り返ったり、クラスメイトの演奏を聞いたりして、学習を振り返るとともに、地元の伝統音楽に対する関心を高めさせる。	静岡県
107	第2学年	器楽(3時間扱い)	地元の地域に伝わる祭囃子を篠笛で演奏しよう。	地元の地域に伝わる祭囃子の音楽に触れ、篠笛を演奏する活動を通して、日本の伝統的な楽器の響きや奏法、音楽文化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。	第1時：箏の基本的な奏法・姿勢などを学び、実際に演奏を体験させて関心をもたせる。 第2時：箏で「さくらさくら」の主旋律が弾けるようになるための練習をさせ、ペア同士で聴き合いやアドバイスをさせる。 第3時：「さくらさくら」の主旋律に伴奏パートを合わせ、アンサンブルで演奏させる。伴奏の楽譜は3パターン用意し、自分たちの技術やめざすイメージに合わせて選択させる。ここでも前時のように、生徒同士で聴き合いとアドバイスをさせる。 第4時：ペアごとに演奏を全体の場で発表した後、4時間の授業を通して箏に対するイメージがどう変わったか、どんなことができたようになったか、さらにどんなことに興味や関心をもったかをワークシートに書いて振り返らせる。	静岡県
108	第2学年	器楽(4時間扱い)	箏ならではの音色や響きを味わいながらアンサンブルをしよう。 箏「さくらさくら」	箏の奏法による音色の違いや独特の響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。	第1時：箏の基本的な奏法・姿勢などを学び、実際に演奏を体験させて関心をもたせる。 第2時：箏で「さくらさくら」の主旋律が弾けるようになるための練習をさせ、ペア同士で聴き合いやアドバイスをさせる。 第3時：「さくらさくら」の主旋律に伴奏パートを合わせ、アンサンブルで演奏させる。伴奏の楽譜は3パターン用意し、自分たちの技術やめざすイメージに合わせて選択させる。ここでも前時のように、生徒同士で聴き合いとアドバイスをさせる。 第4時：ペアごとに演奏を全体の場で発表した後、4時間の授業を通して箏に対するイメージがどう変わったか、どんなことができたようになったか、さらにどんなことに興味や関心をもったかをワークシートに書いて振り返らせる。	香川県
109	第2学年	器楽(4時間扱い)	アルトリコーダーで三重奏を楽しもう。 「星の世界」	・個人練習に取り組む、曲にふさわしい音楽表現の工夫を自分で考える。 ・自分で考えた音楽表現の工夫をもとに、主体的・協働的にアンサンブル活動に取り組む。	第1時：曲全体を聴いて理解する。運指を確認し、自分の担当パートを練習しながら、関心をもたせる。 第2時：「星の世界」の演奏に必要な運指を再度確認し、三重奏をする。 第3時：自分の声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、グループで“こだわりのフレーズ”を話し合わせる。 第4時：自分の演奏を振り返り、また他のグループの演奏を聴いて感想を発表する。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	埼玉県

110	第2学年	器楽（4時間扱い）	楽器の音色を感じ取り、箏の特徴を理解して演奏しよう。 「さくらさくら」「六段の調」	箏の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に気学の学習活動に取り組みとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。	第1時：実際に音を出して試すなどして、箏の音色、構造や奏法を知るとともに、体験をしながら関心をもたせる。 第2時：「さくらさくら」や「六段の調」を演奏するために必要な奏法を、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けさせる。 第3時：ふさわしい器楽表現にしよう、ペアで話し合わせる。 第4時：自分の演奏を振り返り、ペアの演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。 ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 音楽】第3編事例2参照	青森県
111	第2学年	器楽（4時間扱い）	曲想にあった表現の工夫する。 アルトリコーダー「ラヴアースコンチェルト」	アルトリコーダーの音色を味わいながら、音楽活動を楽しみ、主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組みようとする。	①アルトリコーダーは授業の導入時に計画し、毎時間取り組んでいる。目標カードを用いて、自分の演奏目標を設定させ、毎時間振り返りを行う。（目標の基準はワークシートに自分で選択できるように用意をしている。） ②目標は達成したら見直しをすることが可能としている。 ③グループごとに2部合奏をし、他の人の演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。（1時間） ④実技テスト（発表）が終了するときに授業の振り返りと自分のこれからの課題をワークシートに記入させる。	神奈川県
112	第2学年	器楽（4時間扱い）	日本の音楽の特徴を感じ取り、箏の音色や奏法の特徴を理解して演奏しよう。 箏曲「さくら」 「さくらさくら」	箏の構造や奏法による音色や余韻の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組みとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。	第1時：1年時に学習した鑑賞曲「六段の調べ」を振り返り、箏曲や日本の音楽の特徴を思い出し、昨年度右手だけの奏法で演奏した「さくら」に加え、今年度は左手の押し手等で使った「さくらさくら」に挑戦することを伝え、関心をもたせる。 第2時：昨年度の「さくら」をもう一度復習しながら、新たな左手の奏法を他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けさせる。 第3時：「さくらさくら」をより良い演奏にしたり、更に第二節の演奏にも挑戦したりするなど、ペアやグループで話し合ったり、タブレットで録画し合ったりする。 第4時：自分の演奏を振り返ったり、他のグループや仲間の演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。 全時：授業の最後の本時の振り返りを行い、ロイロノートに記入したり、動画も紐づけをしたりして提出させる。	静岡県
113	第2学年	器楽（4時間扱い）	楽器の音色の違いを感じ取り、箏の特徴を理解して演奏しよう。 「さくらさくら」	箏の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組みとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。	第1時：実際に音を出して試すなどして、箏の音色、構造や奏法を知るとともに、体験をしながら関心をもたせる。 第2時：「さくらさくら」の一節を演奏するために必要な奏法を、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けさせる。 第3時：箏にふさわしい器楽表現にしよう、自分の演奏（動画）をみて振り返る。 第4時：自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。 全：授業内で適宜、振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	神奈川県
114	第2学年	器楽（4時間扱い）	「箏に親しもう」 自分たちのイメージした「桜」 「桜のある風景」を、箏の奏法を生かしてつくろう。	箏独特の奏法が生み出す特質や雰囲気、表現の多様さに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽、創作の学習活動に取り組みとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。	第1時：箏の独特な奏法を試させることにより音色や余韻の変化、多様な表現に関心を持たせる。 第2時：箏の音色や独特な奏法の特徴を生かして、2人1組で自分たちのイメージした「桜のある風景」を創作させる。 第3時：他のペアが制作中のものを互いに聴きあい、感想を述べたりアドバイスさせる。 第4時：制作したものを発表しあい、さらに音楽性を高めることにつなげる。振り返りを行いワークシートに記入させる。	埼玉県

120	第2学年	器楽・創作	<p>箏曲「さくらさくら」の前奏を創ろう。</p> <p>各パートの良さを生かしてリコーダーアンサンブルをしよう。</p> <p>指導者が選択し用意した数種類の楽譜から生徒(班ごと)が1曲選択する</p>	<p>箏の奏法や音色に関心をもち、グループで工夫しながら主体的・協働的に取り組んでいる。</p> <p>主旋律、副旋律、伴奏、装飾等の担当を意識し、それぞれの良さを生かした人数配分から、吹き方、強弱の付け方、プレスの配置、速度操作などの工夫によって、美しく、聴く者に心地よい演奏を目指す。</p>	<p>「さくらさくら」を演奏することで、箏の音色や奏法による音の変化に興味を持たせる。</p> <p>全員が演奏できるように、グループで教え合いながら、練習する。</p> <p>グループで話し合い、桜のイメージにあわせて前奏を創る。</p> <p>最後、グループで発表しあい、感想を伝える。</p> <p>第1時：自分たちの興味関心やもっている技能などに応じた選曲やパートの割り振りを行うとともに、各自で読譜を始める。</p> <p>第2時：音名や楽譜の読み方、運指などを、自分で調べたり教え合ったりしながら読譜を進める。</p> <p>第3時：班内で合奏し、各パートの音色やフレーズのつくり方、強弱の付け方、プレスの前え方などを、話し合いながらより美しく演奏できるように試行錯誤する。</p> <p>第4時：班の演奏を完成させる。発表会を行い他班の演奏も鑑賞することによって、自分(たち)の演奏に生かせる点を見つける。</p> <p>全時：毎時間授業の最後に本時の振り返りを行い、各自が次時に取り組む小目標項目を記入させる。</p>	石川県
121	第2学年	器楽(4時間扱い)	<p>音楽を形づくっている要素で遊ぶ。</p> <p>「トガトン」「リズムアンサンブル」</p>	<p>「音楽を形づくっている要素」を使い、単純な音楽を自分たちのルールで変化、発展させることで、要素の動きとそれらが生み出す特質や雰囲気を感じ、理解する。</p>	<p>・単純なつくりの音楽を用いることで、変化をわかりやすくした。また音楽が苦手な生徒に配慮した。</p> <p>・グループ活動を基本とし、協働の中で学びを進め、学習活動に積極的に関わり、自己決定(演奏の表現や工夫)ができるようにした。</p> <p>・「音楽を形づくっている要素」を変化させることについて具体的な例を示し、一つずつ実際に取り組ませ、体験的に理解させた。</p> <p>・楽曲の基本形をもとにアレンジや音楽づくりのルールを自分たちで決めさせ、変化・発展させた。</p> <p>・試行錯誤を行う時間を保証した。</p> <p>・互いに聴き合い、感じたことを言葉にし「音楽を形づくっている要素」の動きを確認させた。</p>	静岡県
122	第3学年	器楽	<p>楽器の音色を感じ取り、箏の特徴を理解して演奏しよう。</p> <p>箏曲「六段の調べ」</p>	<p>箏の構造や、いろいろな奏法に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。</p>	<p>第1時：実際に柱を立てて、調弦をして音色の変化を楽しむ体験をしながら関心をもたせる。</p> <p>第2時：初段を演奏するための必要な奏法グループで話し合って身につけさせる。</p> <p>第3時：箏の奏法をグループで話し合い表現をつける。</p> <p>第4時：自分の演奏を振り返り、グループの演奏を聴いて感想を伝える</p> <p>全時：授業の最後に翻字の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。</p> <p>・基本的な奏法、楽譜の見方、太鼓の特徴やばちの持ち方、唱歌などを指導した。</p> <p>第1時：和太鼓の種類や、郷土の根ざした和太鼓の活用等にふれ、体験をしながら関心をもたせる。</p> <p>第2時：和太鼓に関する映像を見せて、色々な形の和太鼓の使い方があることを知り、唱歌を歌い、リズムや楽譜の見方を取り上げ、たたき方について取り上げた。</p> <p>第3時：小グループを作り、和太鼓の体験や演奏を通して、ふさわしい器楽表現や技能を身に付ける。</p> <p>第4時：各グループの演奏を聴いて、感想を伝えあったり、自分の演奏を振り返る時間を設けたりし、自分の感想を発表する。</p> <p>全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークの添付したワークシートに記入。</p>	青森県
123	第3学年	器楽(4時間扱い)	<p>器楽の教科書・和太鼓について</p>	<p>和太鼓の種類や構造、用途について関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。</p>	<p>第1時：実際に柱を立てて、調弦をして音色の変化を楽しむ体験をしながら関心をもたせる。</p> <p>第2時：初段を演奏するための必要な奏法グループで話し合って身につけさせる。</p> <p>第3時：箏の奏法をグループで話し合い表現をつける。</p> <p>第4時：自分の演奏を振り返り、グループの演奏を聴いて感想を伝える</p> <p>全時：授業の最後に翻字の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。</p> <p>・基本的な奏法、楽譜の見方、太鼓の特徴やばちの持ち方、唱歌などを指導した。</p> <p>第1時：和太鼓の種類や、郷土の根ざした和太鼓の活用等にふれ、体験をしながら関心をもたせる。</p> <p>第2時：和太鼓に関する映像を見せて、色々な形の和太鼓の使い方があることを知り、唱歌を歌い、リズムや楽譜の見方を取り上げ、たたき方について取り上げた。</p> <p>第3時：小グループを作り、和太鼓の体験や演奏を通して、ふさわしい器楽表現や技能を身に付ける。</p> <p>第4時：各グループの演奏を聴いて、感想を伝えあったり、自分の演奏を振り返る時間を設けたりし、自分の感想を発表する。</p> <p>全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークの添付したワークシートに記入。</p>	栃木県
124	第3学年	器楽(4時間扱い)	<p>器楽の教科書・和太鼓について</p>	<p>和太鼓の種類や構造、用途について関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。</p>	<p>第1時：実際に柱を立てて、調弦をして音色の変化を楽しむ体験をしながら関心をもたせる。</p> <p>第2時：初段を演奏するための必要な奏法グループで話し合って身につけさせる。</p> <p>第3時：箏の奏法をグループで話し合い表現をつける。</p> <p>第4時：自分の演奏を振り返り、グループの演奏を聴いて感想を伝える</p> <p>全時：授業の最後に翻字の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。</p> <p>・基本的な奏法、楽譜の見方、太鼓の特徴やばちの持ち方、唱歌などを指導した。</p> <p>第1時：和太鼓の種類や、郷土の根ざした和太鼓の活用等にふれ、体験をしながら関心をもたせる。</p> <p>第2時：和太鼓に関する映像を見せて、色々な形の和太鼓の使い方があることを知り、唱歌を歌い、リズムや楽譜の見方を取り上げ、たたき方について取り上げた。</p> <p>第3時：小グループを作り、和太鼓の体験や演奏を通して、ふさわしい器楽表現や技能を身に付ける。</p> <p>第4時：各グループの演奏を聴いて、感想を伝えあったり、自分の演奏を振り返る時間を設けたりし、自分の感想を発表する。</p> <p>全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークの添付したワークシートに記入。</p>	青森県

125	第3学年	器楽(4時間扱い)	「ラヴアーズコンチェルト」 リコーダー	曲想と音楽の構造、アルトリコーダーの音色や響き、奏法との関わりについて興味関心を持ち、アーティキュレーションを生かした音楽表現を工夫しながら、主体的・協働的に取り組もうとしている。	第1時:どのような曲想がふさわしいか考えさせえる 第2時:音楽の構造に気が付かせる 第3時:模範演奏を聴きアルトリコーダーの音色や響きを感じ取らせる	栃木県
126	第3学年	器楽(5時間扱い)	旋律の特徴や歌詞の内容と関わらせ、音色やリズムを工夫して演奏しよう。	ギター奏法による音色の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組む。	第1時:カントリーローコードの四つのコードを知るとともに、実際に音を出して試すなどして関心をもたせる。 第2時:ペアで協力しながらコードをつなげて弾き、コードの押さえ方やコードをつなげて弾く技術をも身に付けさせる。 第3時:曲の旋律の特徴や歌詞の内容とを関わらせ、どのようなリズムで弾くとよいか、ペアやグループで話合わせる。 第4時:ペアでお互いの演奏の違いを比較したり自分の演奏を振り返ったりしながら感想を伝え合い、よりよい演奏をするための課題を見出し調整させる。 第5時:グループ発表を通して自分の演奏を振り返ったり、他者の演奏を聴いたりして、ギターや曲の良さや面白さについて感想を伝えたりさせる。 全時:授業の最後に本時の振り返りや自己評価を行い、ワークシートに記入させる。	栃木県
127	第3学年	器楽(6時間扱い)	富士川の風景～第の奏法を生かした旋律づくり～	箏の音色や奏法、平調子による旋律、構成などの特徴に関心を持ち、即興的に音を出しながら旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	第1時:前年度までの既習曲「さくらさくら」を演奏し、基本的な奏法の復習、確認をすることで下地を作る。 第2～3時:六段の調べを鑑賞し、様々な奏法を学んだ後、「即興チャレンジ」を行う。お題に合った音を、即興で弾く。→簡単な情景のお題を基に、音で表現することに慣れることで、既習の奏法を用いて工夫できるようにする。 ○富士川の風景にびびったりな旋律を作ろう。 ・4枚の写真から、それぞれ好きなものを選び、4小節16拍の旋律を創作する。 ・途中で出来た旋律は、記譜しておく。加えてタブレットでペアに録音してもらい、記録しておく。どのような意図をもって創作したのか、ワークシートに言葉で記録しておく。 第4～5時 ○お互いの作った演奏を発表し合おう。 ●もっとイメージにびびったりな旋律に近づけるために、表現を工夫しよう。 ・これまでに習った奏法を全体で確認し、取り入れられるようにする。 ・なぜその部分にその工夫を入れたのかをワークシートに記入し、思いや意図をもって創作できるようにする。 第6時○創作した音楽を発表し、互いの作品のよさを味わおう。 ・工夫した点を述べてから作品を演奏する。 ・他グループの演奏を聴き、作品についての感想を述べたり、発表したりする。	静岡県

128	第3学年	楽器(3時間扱い)	曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう。 アルトリコーダー「オーラ リー」	アルトリコーダーの構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組みようとしている。	アルトリコーダーの構造や奏法を確認するとともに、タンギングや運指に気をつけて演奏させる。 第2時：「オーラ リー」を演奏するために必要な奏法を、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたリしながら身に付けさせる。 第3時：曲にふさわしい器楽表現にしようとして、グループで話し合わせる。 自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	青森県
129	第3学年	楽器(5時間扱い)	曲にふさわしい器楽表現の工夫 「打楽器のための小品」	自ら器楽表現の良さや美しさを味わい、仲間と共に演奏を創り上げる喜びを感じながら、主体的に自分らしい音楽表現をしようとしている。	第1時：グループの仲間と共に6つのパートのリズムを手拍子で叩いてみることで、平易なリズムを演奏する方法を知り、仲間と共にアンサンブルをすることに関心をもち、仲間と声をかけあいがながら演奏に取り組みよう促す。 第2時：自分のパートのリズムにふさわしい楽器を選び、それぞれの楽器の奏法を学ぶとともに、仲間と声をかけあいがながら演奏に取り組みよう促す。 第3時：自分たちのグループらしい演奏にするために、前奏部分のパートの重ね方を話し合わせる。 第4時：グループで一番盛り上げたい場面を決め、その場面がより引き立つような強弱表現の工夫を話し合わせる。 第5時：これまでの練習の成果を発表会という形で披露し、他のグループの演奏を聴いて感想を交流させる。 全時：授業の最後には、本時の個人目標に対する振り返りとグループの振り返りをワークシートに記入させる。	岐阜県
130	全学年	歌唱(8時間扱い)	各学年それぞれのクラス合唱曲	課題を出しそれぞれのルーブリックを達成したか	今までのDVDを見たり、他校の演奏を見せた	栃木県
131	全学年	楽器(3時間扱い)	レッツ クリエイト(クラップハンド) 「リズムアンサンブルを創ろう」	既習のリズムを用い、音の重なりを工夫しながらペアでリズムアンサンブルを楽しむことができる。	第1時：4分の4拍子のリズムを一人2小節ずつ創り、それらを組み合わせながら8小節のリズムアンサンブルを創りあげる。 第2時：難しいところは簡単に創りなおし練習する。 第3時：工夫した所をアピールしながら、発表会に臨む。また、その発表を聴いて自分たちで参考にしたい部分を述べる。 頑張りを褒められるとともに、次時への参考点を見いだす。	青森県

132	第1学年	鑑賞 (3時間扱い) 器楽 (4時間扱い)	曲想の変化を生み出すために。 「春―第1楽章―」 「クラシックシンゴラソソディ第1番」	・「春―第1楽章―」に添えられたソネットを参考に、それぞれの部位の情景を思いうかべながら聴いている。 ・「クラシックシンゴラソソディ第1番」の演奏に対して願いをもち、録画機能などを活用しながら、自分達の演奏に近づけるように、仲間にはたらきかけている。	第1時：全7時の活動内容、特に最終時の活動内容を見通しをもたせる。→3時間で鑑賞し、知覚と感受の関連性を身に付けた後、器楽演奏にてグループ独自の表現方法を考える活動の流れ 第2時：ソネットについて学習し、グループ活動で、ヴィジュアルデイがそれぞれの部位に対し、なぜそのようなソネットを添えたのか、話し合わせる。 第3時：グループで話し合ったことを簡単なプレゼンにまとめ、発表会を行う。他のグループの発表内容について、振り返りを行う。 第4時：“クラシックシンゴラソソディ第1番”を鑑賞し、活動に見通しをもたせる。またどのような演奏にしたいかグループで話し合わせる。 第5時：手拍子の技能を指導し、グループで正しく演奏するための練習を行う。ヒントカードの活用状況を観察する。 第6時：教師による見本と自分達のグループ演奏を比較し、強弱やアクセントをつけることで感受と知覚を結びつけ、より工夫した演奏に発展させる。 第7時：発表会を行い、アンケート調査をする。最も工夫が感じられたグループの楽譜を用いて、最後に全員で演奏する。	岐阜県
133	第2学年	器楽 創作	平調子の響きに親しみ、箏の魅力を味わおう。 一面の箏を3人で演奏するための「さくら さくら」	箏の奏法による音色の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や創作の学習活動に取り組み、とともに、平調子の響きに親しもうとしている。	第1時：実際に音を出し試すなどして、箏の構造や奏法を知るとともに、さくらさくらを演奏しながら関心をもたせる。 第2時：3人のイメージを共有するための話し合いをし、音で試しながら表現を工夫させる。 第3時：箏の音色や旋律、構成の特徴について、イメージと関わり、前奏を創作させる。 第4時：タブレットを使用し、録画・録音を繰り返し確認しながら、創意工夫させる。 第5時 自分たちの演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いたりし、感想を伝え合わせる。 全時：本時の振り返りを全時行い、ワークシートに記入させる。	栃木県
134	第2学年	器楽・創作 (5時間扱い)	和太鼓 「天高く鳴り響け」	自ら創作したリズムを入れて、楽譜を完成し、アンサンブルする活動を通して、他者と合わせて演奏する技能を身につけ、創意工夫をしたり、日本の伝統芸能を深く味わったりしている。	第1時：和太鼓の基本的な奏法を身に付けた。 第2時：楽譜の空いている部分のリズムを全員が創作できるようにした。(自力創作、選択制など) 第3時：パートを決めて二人組で練習する。 第4・5時：創意工夫をする段階で、タブレットで録画をとる人、演奏を聴いてアドバイスをする人など、4人でローテーションを組み、振り返りができるようにした。	静岡県

135	<p>135</p> <p>135</p>	<p>135</p> <p>135</p>	<p>135</p> <p>135</p>	<p>135</p> <p>135</p>	<p>135</p> <p>135</p>
136	<p>136</p> <p>136</p>	<p>136</p> <p>136</p>	<p>136</p> <p>136</p>	<p>136</p> <p>136</p>	<p>136</p> <p>136</p>
136	<p>136</p> <p>136</p>	<p>136</p> <p>136</p>	<p>136</p> <p>136</p>	<p>136</p> <p>136</p>	<p>136</p> <p>136</p>

137	第1学年	創作(3時間扱い)	ふるさとの風景を音楽で表現しよう。 「Let's Create！」	ふるさとの風景から得た表現したい思いや意図に合う音色、テクスチャ、強弱、構成と、それらの動きが生み出す特質や雰囲気に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：場面ごとの音楽を比較することで、異なる音楽材によって生まれるイメージの違いに関心をもち、ふるさとの写真から音楽で表現したい風景のイメージをもち、思いや意図に合う音楽材を選び、反復、変化、対照などを試しながら創作させる。 第2時：2グループ1組で発表し合い、さらにイメージが伝わる音楽になるよう作品について他者に助言したり、他者からの助言を参考にしたりしながら創作させる。 第3時：学級全体で作品を発表し、自分の作品を振り返ったり、他のグループの作品を聴いて感想を伝えたりさせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	新潟県
138	第1学年	創作(3時間扱い)	4つのリズムパターンを使い自分のオリジナルリズムを創作しよう。 中学生の音楽1 p16	リズムのつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	まずは基礎的な知識(音符の種類、音価、書き方)の習得をさせ、リズム打ちの練習、そして創作して発表するという、手順で一人一人の生徒を丁寧に指導していった。	千葉県
139	第1学年	創作(3時間扱い)	構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。 Let's Create!	音楽材の特徴及び反復や変化、対照など構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにする。	第1時：グループで話し合いながら、絵から3つの場面を設定し、実際に音を出して試すなどして、音楽材の特徴を知るとともに、体験をしながら関心をもちさせる。 第2時：グループで話し合いながら、強弱や構成を工夫して音楽をつくる。 第3時：自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	栃木県
140	第1学年	創作(4時間扱い)	和太鼓の特徴を生かし、「祭り」の音楽を創作しよう。 「太鼓」中学生の音楽(教育芸術社) 「TAIKO POWER」(作曲：ヒダノ修一)	和太鼓の音色の特徴と、表現したい音楽の構成との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	音符や休符を用いないことで、苦学意識を取り払い、感覚的に取り組ませた。全てを自由に創作させるのではなく、ルールを設けることでまとまりをもたせた。「なぜその音を選んだのか？」という発問を繰り返して行い、観察をしながら生徒の発想に音楽的な価値付けを与えていった。	神奈川県
141	第1学年	創作(4時間扱い)	日本語の抑揚を生かした旋律を作ろう。	創作、音楽表現の多様性に興味を持ち、音楽の持つ良さ、日本語の抑揚が持つ美しさを味わいながら、主体的、協動的に学んでいる。	第1時：日本語の抑揚に合わせた旋律のための歌詞を考える。 第2時：日本語の抑揚から旋律を考え、抑揚を曲線で表し、視覚的にも理解できる。 第3時：自分で作った旋律をタブレットの鍵盤で演奏して抑揚に沿った旋律をつくる。 第4時：自分で作った旋律を練習し、グループで発表、交流する。	北海道
142	第2学年	創作	「My Melody」	言葉を基にイメージと関わらせて旋律をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	導入で俳句についての解釈を考えさせたり、芭蕉が着想を得た寺の池の映像をてがかりに情景をイメージさせた。また俳句の語調を音読させることで、リズムの創作のヒントにした。さらに、個人で創作した旋律を、ペアになり意見交換することで、相互理解と創作を苦手とする生徒への支援とした。	青森県
143	第2学年	創作(2時間扱い)	言葉の抑揚を生かして創作表現を工夫しよう。 「My Melody」	言葉をもとにイメージと関わらせて旋律を作ることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：言葉を発音しながら抑揚に合わせて手を上下に動かす活動を行い言葉の抑揚を理解させる。 ・リズムを手でたたいたり、音階を歌ったりしてイメージを持たせる。 ・中間発表をして意見交換を行う。 第2時：アドバイスを聴いてさらに工夫をさせる。 ・作品をもう一度発表する。	埼玉県

144	第2学年	創作(2時間扱い)	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。	・言葉のもつ音楽材やその特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの全体のまとまり、音の重なり方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとする。	第1時：生徒がそれぞれ選んだ「言葉」を使ってグループで話し合わせて表現させ、中間発表後、グループ作品のよりよい表現方法を考えさせる。 第2時：更によりよい表現を探りながらグループ作品の練習後に発表させ、互いの作品を聴き合って感想を伝え合う。 全時：授業の最後に本字の振り返りをワークシートに記入させる。	青森県
145	第2学年	創作(2時間扱い)	キーボードの黒鍵を使って、My旋律をつくろう！	音のつながり方の特徴を生かした旋律づくりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むとともに、他の生徒の良さを認めて取り入れることができる。	第1時：導入において自由に黒鍵を弾いて興味をもたせ、曲作りのルールを模造紙やカードを使って説明しながら関心をもたせる。 第2時：創作活動時に、ルールにそって旋律がつくられているか、グループ内で聴き合い、感想や意見を伝えさせる。 全時：授業の最後に振り返りシートの記入を行わせる。	千葉県
146	第2学年	創作(2時間扱い)	リズムで楽しもう。 ～リズムゲーム・リズムアンサンブル・リズムチャレンジ～	・手拍子をしたり、声に出して選んだリズムを表現したりして、積極的にリズムに関わっている。 ・グループ活動で行うリズムアンサンブルでは、音の重なりを意識してどうしたらアンサンブルが成功するのか、積極的に考え、仲間に提案しながら活動を進めている。 ・振り返りのワークシートでは、この題材で学んだこと、次への課題等意欲的に記入している。	第1時：音符ごとどのように声に出したらよいか、どのようなリズムになるのか、等板書しながら丁寧に確認し、基礎を固めた。 第2時：リズムアンサンブルでは、どのようなことをしたら聴き手に楽しんでもらえるアンサンブルになるのか、まずは考えさせ、アンサンブルの始め方、止め方、速度等を工夫させた。	静岡県
147	第2学年	創作(3時間扱い)	音のつながり方や音の高低に着目して、表現を創意工夫しよう。 [My Melody]	言葉を基にイメージと関わらせて作品をつくることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に創作活動に取り組もうとしている。	ICT機器を使い、実際に自分が創作した旋律を、音を出しながら確かめることで、自分のイメージに もっと近づけたいと意欲的に取り組めるようにした。	岐阜県
148	第2学年	創作(3時間扱い)	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。 「サラダ」でリズムアンサンブル (教育芸術社 中学生の音楽2・3上 P.38・39 Let's Create!)	素材の特徴及び音の重なりや反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：「リズムのもと」を作る際に、実際に言葉を発表しながら言葉の持つリズムや語感を確かめ、音符を用いた記録の方法を身に付け、一つの言葉で多様な表現ができることが感じられるようにした。 第2時：反復や変化の効果を示すことで、自分の「リズムのもと」をつなぎ合わせ、友だちに工夫した点を発表できるようにした。 第3時：グループでサラダの音楽を作る際に、どんなサラダなのか名前をつけ、サラダのイメージ(盛り付ける順番や食べ方、食感など)を具体的に話し合わせて創作に生かす場面を設定した。	京都府

149	第2学年	創作(4時間扱い)	ジャズで使われる音階やリズム、アドリブを使って音楽をつくる。「ブルーノートスケール、4つのリズムパターン、Smoke on the water、In the mood、Take five」	ジャズで使われる音階やリズム、構成や即興的に旋律をつくる活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽をつくる活動に取り組む。ジャズ特有の音階やリズム、曲の構成、アドリブなどの要素を使って音楽をつくる活動を通してジャズに親しむ。	第1時：ジャズに使われているリズムから、4つのリズムパターンを提示し、ジャズスイングのリズムを流しながらキーボードを使って4つのリズムパターンを使い、短い旋律を即興的に弾いたりフレーズを弾いたりしてブルーノートやリズムに関心をもち、弾きながら試したりできるようにする。 第2時：グループでジャズの要素を使って旋律の重なり方や反復、変化、対照などの構成をどのようにつくることができるかを話し合ったり、ソロ、ペア、トゥッティなど形態の組み合わせ、構成などを考え4人でアドリブ風の音楽をつくることができるように話し合い、工夫できるように板書やミニボードで支援、助言する。 第3時：グループでつくった演奏をタブレットで撮って振り返りしたり、互いの演奏を聴いて感想を伝え合ったりすることで、さらに工夫したいことを話し合ったり、弾きながら試したりできるようにする。また、鑑賞曲から、リズムの使われ方や構成などを、参考となるように示す。 第4時：グループごとにつくった音楽を共通モチーフでつないで演奏し、自分達のつくった音楽や鑑賞したプロの演奏を共有しながら、振り返りをする。(ワークシート記入)	島根県
150	第2学年	創作(4時間扱い)	音楽のつながり方の特徴を生かして旋律をつくらう。	コード進行をいかしてまとまりのある旋律をつくることに関心をもち、音楽活動をしながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：YOASOBIの曲を使用して、曲にはコードとコード進行が関係していることをしり興味を持たせるとともに、グループで作曲活動に挑戦することを通して、和音の構成音を使えば簡単に曲が作れることを実感し、作曲りに興味を持たせる。 第2、3時：前時に作った曲に経過音や利線音などを入れることで曲が変化することを知り、自分の曲のテーマを考え伴奏音源を使いながらテーマに合う旋律づくりをさせる。授業後半に互いの旋律へのアドバイスをする時間をもつ。 第4時：前時の級友からのアドバイスを基に、旋律を仕上げる。完成した旋律をグループ内で発表し合い、振り返りをする。 全時：授業終了前にその時間の振り返りをワークシートへ記入させる。	静岡県
151	第2学年	創作(5時間扱い)	言葉の抑揚を生かして旋律をつくらう。	五音階の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：5音階でできた合唱曲を歌い、5音階に関心を持たせる。 第2時：第1時で歌った合唱曲のリズムを手で打ち、言葉とリズムの関係を体感させる。 第3時：松尾芭蕉の俳句で実際に音をつけさせる。 第4時：自分で選んだ詩にリズムと音をつけさせる。 第5時：自分の曲を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて良い所を伝えたりさせる。 全時：振り返りシートに記入させる。	石川県
152	第3学年 第2学年	創作(4時間扱い)	「Let' Create!」 (2・3下教科書)	ペアによるリズムアンサンブルを創作表 現する活動を取り入れることにより、 個々に合ったリズムを組み合わせてイ メージに合った表現を工夫する上で、音 の重なり方や反復、変化、対照などの意 味とその効果を理解して、課題に沿った 音の選択や組合せなどを主体的に工夫し ようとする。	第1時：ポディーパーカッションという音楽材を使って、音色の特徴を生かしたリズムパターンをつくる。さらに、つくったリズムを基にペアで組み合わせて、表したいイメージに合ったリズムアンサンブルの創作の学習活動に取り組む。 第2時：つくったリズムアンサンブルの改善点や工夫したいことをペアで確認する。そして、よりイメージに合った音楽にするために音の重なり方や反復、変化、対照などの構成をどのように工夫したらよいか意見交換することによって考えを深め、創作表現にかかわる知識や技能を得たり生かしたりしながらまとまりのある創作表現を創意外工夫することできるようにする。	岐阜県
153	第3学年	創作(6時間扱い)	「お箏でパラダイス」 ミニマルミュージックを題材に、 小さな旋律の反復とパートの重なり り方などを工夫して雰囲気合う 曲を創作する。	グループ内で進んで発言したり、練習に 取り組むなど協働的に取り組んでいる。 学習の振り返りにおいて、その日の成果 や課題、次の時間の目標などを具体的に 記述することができる。	技能やリーダーシップの面で、3人グループのメンバーが極端に偏らないよう配慮した。 生徒が作成した楽曲を全体に提示し、よい所を認めたり、どこがよいか考えさせたりした。 かわかりが難しい生徒、音楽への苦手意識が強い生徒には、積極的にアドバイスしたり、具体的にやるべきことを指示したりして、「できそうだな」と思わせるよう支援した。 試行錯誤する時間を多くとり、仲間と話し合って活動した。	新潟県

154	第3学年	創作(2時間扱い)	ハ長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう。 「My Melody」 *教科書をもとにしたオリジナル部分あり	和音の動きと音階の特徴および音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	音楽ソフトを使って実際に音をならしながら個々に学習を進める。 第1時：C→Am→F→G7進行の4小節の旋律をつくる。 *条件：Step1～4(全音符→2分音符→4分音符→非和音を使って) 第2時：循環(カノン)コードの8小節4の旋律をつくる。 合唱曲「遠い日の歌」につかわれていることを紹介する。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入する。 特に2時の振り返りには、工夫した点(自己評価とリズムや非和音の使い方など)こだわった点などについて自由に記述させる。	神奈川県
155	第3学年	創作(3時間扱い)	音の特徴や重なりを感じてリズムアンサンブルをつくろう。	音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照など音楽が生み出す雰囲気や表情の変化などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：カッパズについて知り、体験をしながら関心をもちさせる。 第2時：オリジナルのリズムを作るためにグループで話し合い、助言を参考にしながら演奏方法を身につけさせる。 第3時：自分たちの演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりさせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	栃木県
156	第3学年	創作・鑑賞(3時間扱い)	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。 「アルタガ(モルダウ)」	曲想と音楽の特徴との関わりに注目し、音楽のよさや美しさを感じ取る。 作曲者が作品に込めた思いを感じ取って聴く。	第1時：鑑賞を通して曲想の変化を感じ取り、ワークシートに記入する。 第2時：作曲者が過ごした時代背景や曲の解説を各自調べ、ワークシートに記入する。調べた内容をグループで共有し、一つにまとめる。調べ学習やまとめの作業ではICTを活用する(パワーポイントやwebサイトなど)。 第3時：作曲者が曲に込めた思いをグループでまとめ、発表する。まとめる際になぜそのような内容になったかを明記するよう注意する。	青森県
157	第3学年	創作・鑑賞(6時間扱い)	対旋律をつくろう。 「君をのせて(鑑賞)」 「カントリロード(創作)」 対旋律が生み出す雰囲気や表情など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けるとともに、まとまりのある創作表現を工夫し、対旋律の生み出す雰囲気や表情などを味わいながら創作や鑑賞活動に親しむ。	対旋律が生み出す雰囲気や表情などの曲想と音の重なり方や反復、変化、対照などの構造との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：対旋律が生み出す雰囲気や表情と音楽の構造との関わりについて理解する。 第2時：「カントリロード」の主旋律の特徴を捉え、対旋律をどのように表すかについて思いや意図をもつ。 第3時：対旋律の役割や特徴を生かして、「カントリロード」にあう対旋律をつくる。 第4時：課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、まとまりのある対旋律をつくる。 第5時：思いや意図をもって作品を完成させ、発表に向けて作品を演奏できるようにする。 第6時：曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、作品のよさや美しさを味わって聴く。	栃木県
158	第1学年	鑑賞(3時間扱い)	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。 「春 第一章」	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	第1時：クイズ形式で考えることで関心をもちさせる。(小鳥の部分を聴きなんの動物がイメージできるか、嵐の場面はどの音楽か(嵐が流れ出すところと嵐のところを聴き比べさせる) 第2時：ほとんどの生徒が聴いたことがある「春がやって来た」部分を繰り返し聴かせたあと、全体を通して聴き気が付いたことを考えさせ、意見の交流をする 第2時：最後に映像で鑑賞し、表現のおもしろさを感じ取れるようにし、まとめを行う 全：クロームブックで考えの記入、意見交流を行って、自分の考えがなかなかない生徒には、友達の意見を参考にしても良いことを伝えたり、個別に声をかけるようにする	神奈川県

159	第1学年	鑑賞(2時間扱い)	「魔王」	詩と音楽との関わりや歌唱表現の工夫に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞活動に取り組みようとしている。	第1時：知覚、感受したことを班で意見交換し、またそれをクラスで共有して、様々な捉え方があることに気づかせ、音楽と歌詞の関わりについて自分の考えを持たせる。 第2時：歌唱動画をタブレットを使って各自で視聴しながら、演奏者の表現の工夫に気づかせる。	山口県
160	第1学年	鑑賞(2時間扱い)	イメージをもたらず音楽の秘密を探ろう。 「映画ジョーズから《ジョーズのテーマ》」	ジョーズのテーマ曲を聴き、音の強弱・速度・高低・リズム・音色の視点をもちながら、音楽から得られるイメージと音楽の5つの特徴(要素)との関わりに注目しながら聴くことができる。	第1時：さまざまな曲の曲想を創っている音の要素とは何かを学んだ後に、ジョーズのそれぞれの場面面でのどのような効果をもたらしているかを、教科書内のワークシート欄を使用して各自で考える場面を設定した。 第2時：前時の学習での各自の意見を発表し、グループ・全体でその効果を共有・確認し、その効果について別の曲でも体感するようにした。	静岡県
161	第1学年	鑑賞(2時間扱い)	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。 「魔王」	旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みよう。	第1時：曲を鑑賞し、曲想や詩の内容からどのような曲なのか、想像しながら関心をもたせる。 第2時：登場人物の歌声はどのように表現されているのか、グループで話し合わせる。 全時間：曲を聴いて感じたことや気づいたことを、ワークシートを記入させる。	石川県
162	第1学年	鑑賞(2時間扱い)	イメージをもたらず音楽の秘密を探ろう。 映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ」	音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みよう。	第1時： ・冒頭の音楽を聴き、イメージしたことと音楽の特徴との関わりについて、スクールタクトを活用し、互いの考えを共有させる。 ・音楽の特徴に注目して、中間部まで鑑賞し、スクールタクトやインナーネットを活用してグループで意見を共有したり考えを深めたりさせる。 第2時： ・クライマックスの部分を鑑賞し、音楽の特徴から結末を予想させる。 ・楽曲のよさやおもしろさについて自分の考えをまとめさせる。	栃木県
163	第1学年	鑑賞(2時間扱い)	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら学習に取り組みよう。	第1時：曲想の変化、形式を元に物語を作り、曲想と音楽の構造との関わりに関心を持たせる。 第2時：楽器の音色、旋律、テクニクス、形式について理解し、音楽の良さや美しさを味わって聴く。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	岐阜県
164	第1学年	鑑賞(2時間扱い)	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。 「春～第1楽章～」	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みよう。	第1時：A～Eの部分ごとに区切り、ソネットの内容と音楽がどのように関わっているか、考えながら聴くことができるよう、奏法や音色など視点を持たせる。 第2時：曲の構造やバロック時代に使われていた楽器の響き・特徴に関心を持たせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	岐阜県
165	第1学年	鑑賞(2時間扱い)	人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう。 郷土に伝わる民謡を調べよう。	日本の民謡が生まれた背景や、声や楽器の音色に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みよう。	第1時：仕事歌・庶民歌・子守歌のそれぞれ1曲を選び、民謡が生まれた背景や声や楽器の音色に関心を持たせる。 第2時：グループで発表し合い、それぞれの民謡を鑑賞させる。新しく気づいたことや、感想をまとめる。	埼玉県
166	第1学年	鑑賞(2時間扱い)	音楽のもつ豊かな表現力を味わおう。 「魔王」(ゲーテ作詞/シューベルト作曲)	「魔王」が表す劇的な歌唱表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。	第1時：登場人物ごとに聴き、声、旋律の特徴や変化について知覚させ、それらの特質や雰囲気を感じさせ、「魔王」が表す劇的な歌唱表現に関心をもたせる。 第2時：ピアノの伴奏に着目して聴かせ、リズムの違いや調の違いに気づかせ、曲想と音楽の構造との関わりに関心をもたせる。	埼玉県

167	第1学年	鑑賞(2時間扱い)	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。 「魔王」	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、ドイツ歌曲に親しむ。	第1時： 曲想から感受したことを音楽の構造と結びつけられるよう、ワークシートや板書を工夫した。 第2時： 実際に楽器を演奏し、音で確認しながら曲想の変化を聞き取れるようにする。 ・スノーマンの特徴的な「音」の出る場面の「音、音楽」を聴かせ、どんな場面が想像させる。音楽と映像の関係性から、映像に音楽がつくことで、より私たちに臨場感を味わわせることができている。 ・ジョーズ、E.Tなどの映像から音楽を想像したり、その逆をしたりすることを通して、私たちの心には、映像だけでなく、その映像の雰囲気を表す音楽と一緒に流れることでわくわく、ドキドキが増している。そのような力が音楽にはある。 ・班ごとに、音楽を聴いて、どのような雰囲気を感じるかなど話し合う。ワークシートに皆で相談しながら書いていく。最後に、個人で音楽と映像の関係性から考えたことをまとめて終了。	栃木県
168	第1学年	鑑賞(3時間扱い)	映像と音楽 映画音楽「ジョーズのテーマ」 「絵本「E.Tフラインググーター」(DVD)スノーマン」	映像から音楽を創造したり、音楽からその場面を想像したりすることを通して、音楽と映像の関わりと、それらが人の心に及ぼす力を感じ取ることができる。	第1時：曲想から得たイメージで物語を作らせる。実際の歌詞の内容から劇を演じさせる。知識(作曲家等について)を習得させる。 第2時：班員で分担し、1人1役、音楽の特徴を分析。その後ジグゾー法で意見交換をさせる。 第3時：班の中で各役の特徴を発表させる。全体で作曲の仕掛けをまとめる。	静岡県
169	第1学年	鑑賞(3時間扱い)	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。 シューベルト作曲「魔王」	音楽の構造や音楽を形づくっている要素に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。	第1時：原曲版を聴き、楽曲の概要把握を行う。また日本語版を聴き、登場人物や伴奏楽器などを確認する。他者と聴き取った情報を交流しながら学習を進める。 第2時：楽曲の部分鑑賞し、物語の流れを確認する。また楽譜を見ながら、登場人物の心情変化を鑑賞する。他者と聴き取った感想などを交流しながら学習を進める。 第3時：作詞者・作曲者について知るとともに、この曲が作曲された背景を学習する。学習のまとめとして、再度楽曲を鑑賞し、紹介文を作成する。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	埼玉県
170	第1学年	鑑賞(3時間扱い)	曲想と音楽の特徴の関わりを感じ取って聴こう。 歌曲「魔王」	旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み。	第1時：原曲版を聴き、楽曲の概要把握を行う。また日本語版を聴き、登場人物や伴奏楽器などを確認する。他者と聴き取った情報を交流しながら学習を進める。 第2時：楽曲の部分鑑賞し、物語の流れを確認する。また楽譜を見ながら、登場人物の心情変化を鑑賞する。他者と聴き取った感想などを交流しながら学習を進める。 第3時：作詞者・作曲者について知るとともに、この曲が作曲された背景を学習する。学習のまとめとして、再度楽曲を鑑賞し、紹介文を作成する。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	京都府
171	第1学年	鑑賞(3時間扱い)	イメージをもたらず音楽の秘密を探ろう。 「ジョーズのテーマ、和声と創意の試みより四季「春第一楽章」」	音楽の構造に興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みと共に、オーケストラの響きに親しむ。	・これから聴く曲に対して情報を与えずに視聴する ・素直に感じたことを述べさせ、それがどうしてなのかを考えさせる(音楽の構造と結びつける) ・ジョーズで学んだ聴き取り方を春で生かす	千葉県
172	第1学年	鑑賞(4時間扱い)	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。 鑑賞「春第一楽章一」	弦楽合奏と独奏の響きの対比や楽器の音色、曲の構成に関心を持ち、音楽活動をしながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。	第1時：ソネットを手がかりに、各部分の曲想を音色や強弱、旋律に着目しながら聴くことで、作曲者が情景をどのように表現しているのかを感じ取らせる。 第2時：ヴァイオリンやコントラバスなどを実際に見て、触ったり弾いたりして、楽器の音色や構造について知るとともに、体験をしながら関心をもたせる。 第3時：場面終わりの旋律(リトルネロ部分)に注目しながら聴いてグループで話し合うことで、各場面の情景との関わりや曲の構成、形式について気づかせる。 第4時：学習したことをもとに、楽曲のよさや魅力が伝わるような紹介文を書いて、全体で交流させる。	岐阜県
173	第2学年	鑑賞	曲の構成の良さや面白さを味わいながら鑑賞しよう。 M.ラヴェル作曲「ボレロ」	楽曲の構成に関心を持ち、音楽活動をしながら、話し合い活動に積極的に取り組んでいる。	第1時：作品の基本的な構成を確認させる(ワークシート) 音色と強弱の変化に気づかせる(ワークシート・電子黒板) 第2時：グループでの意見交換と発表(タブレット)	宮城県

174	第2学年	鑑賞	詩の内容と音楽が一体となった曲の雰囲気を感じ取ろう。 歌曲「魔王」	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協動的に取り組む。	①：登場人物の人数と各々の特徴を聴き分け、ワークシートに記入させる。 ②：登場人物ごとの声の特徴をグループで話し合わせる。 ③：ワールドカフェで他のグループとの意見交流を行い、自分の考え以外のものでも納得できたものは全てワークシートに記入させる。 全：各時の最後に学んだことや気付いたことをワークシートにまとめ、自己の考えの変化や深化をメタ認知させる。	青森県
175	第2学年	鑑賞	曲と曲全体の構成を関わらせながら鑑賞しよう。 「ボレロ」	曲の構成から感じる曲想の変化の違いに関心をもち、主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組むとともに、曲の魅力について考える活動に取り組む。	曲の構成を全体で確認し、曲想と曲の構成の関係について個人で考えさせる。その後、グループで見交換をし、様々な考え方があることに触れ、自分の考えと同じところ違うところから、さらに自分の考えを深めさせる。	栃木県
176	第2学年	鑑賞(2時間扱い)	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 歌舞伎「勅進帳」	「勅進帳」の見どころや歌舞伎で使われる音楽に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に長唄の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。	第1時：歌舞伎の視聴を通して、使われている音楽、役者、演出、等に関心を持たせる。 第2時：「勅進帳」で使われている長唄を聴き、グループでの唄い、助言を通して言葉や台詞の独特な言い回しについて感想を伝えたり、記入することができる。 ※「中学校の音楽」研究編(教育芸術社)参照	埼玉県
177	第2学年	鑑賞(2時間扱い)	「ファーガト短調」 ・旋律が重なり合っていく、面白さを感じ取る。 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：作曲家の時代背景等をipadを使用して調べてまとめ、パイプオルガンの特徴について理解を深め、調べたことを発表する。 第2時：旋律が絡み合う面白さを、リコーダーを利用して感じ取り、グループ発表をする。ファーガの特性について理解を深める。	山口県
178	第2学年	鑑賞(2時間扱い)	音楽の特徴や他の芸術との関わりを理解して、その魅力を味わおう。 「ボレロ」	「ボレロ」の繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律、音色や強弱の変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：音色、リズム、強弱、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したことの関わりについて話しあう。 第2時：繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律、音色や強弱の変化に関心をもち、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	青森県
179	第2学年	鑑賞(2時間扱い)	「ファーガト短調」を聴いてファーガ形式の特徴をとらえて、曲の変化を感じ取ろう。	ファーガ形式について関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞する。	第1時：ファーガ形式の特徴や曲の変化について、楽譜を活用しながら考えさせる。 第2時：曲の作られた背景や作曲者パッサハについて学び、「ファーガト短調」の面白さを伝えさせる。	静岡県
180	第2学年	鑑賞(2時間扱い)	旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。 J.S.バッハ作曲「ファーガト短調」	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：ワークシートに3回に分けて気づきを記入させる(発表含む)。1、2回目はCDで聴覚のみ、3回目はDVDでの鑑賞にし、視覚からの気づきの時間を与える。 第2時：主題が聞こえたら拳手をさせ。主題が何回聞こえたか、音の高さやリズムに変化はあったかなどを問い、意見を集約して再び鑑賞する。	石川県
181	第2学年	鑑賞(2時間扱い)	旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。 「ファーガト短調」	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組む	第1時：曲の冒頭を聴き、感じたことを伝え合い、楽曲や楽器(パイプオルガン)への関心をもたせる。 第2時：曲想や形式を理解した上で音楽のよさや美しさを味わいながら聴き、ワークシートに記入する。また、感じたことをペアやグループで伝え合わせる 全時:授業の最後に、本時の振り返りをワークシートに記入させる	栃木県

182	第2学年	鑑賞(2時間扱い)	「フーガト短調」 パイプオルガンの響きや、旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。	パイプオルガンの楽器の構造や特徴について関心、興味を持ち、フーガの構造を理解しながら、主体的・協働的に鑑賞活動に取り組み、社会と音楽との関わりについて考える。	第1時：鑑賞をして第1印象をワークシートに記入させる。楽器の構造等について学び、作者や時代背景についても知り、関心をもたせる。 第2時：フーガの主題を歌ってから鑑賞して、その構成に注目させ、フーガについて理解を深める。鑑賞をしてワークシートに感じ取ったことを記入させる。授業の最後に振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	京都府
183	第2学年	鑑賞(2時間扱い)	総合芸術「オペラ」の魅力を楽しむ。 オペラ「アイダ」	様々な分野の芸術から成り立つオペラについて、総合芸術として多面的・多角的に捉えて鑑賞している。	第1時： ・様々な芸術の分野が関わって創り上げる総合芸術について、自分のクラスでオペラを鑑賞することを仮定して役割や準備などの計画を立て、学級内で共有する。 ・仮定で分担した役割の視点で第2幕「凱旋の場」を鑑賞し、気づいたことをワークシートに記入する。【評価】 第2時： ・多様な登場人物やパートがあることを理解し、オペラの音楽的な要素を鑑賞する。 ・ワークシートに登場人物ごとの特徴を記入する。【評価】	埼玉県
184	第2学年	鑑賞(3時間扱い)	「交響曲第5番ハ短調第1楽章」	交響曲の曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむ。	ソナタ形式による楽曲構成を理解し、動機を効果的に用いたドラマ性のある表現を味わうための解説。 構造だけでなく、目まぐるしい展開を表現するために演奏に必要な技能についても触れ、音楽文化に触れるきっかけとする。 ワークシートにメモや気づいたことを記入させ、記入の足りない生徒に対して、アドバイスをし、映像を使って鑑賞を行う。場面ごとに活躍する楽器に注目させる。	静岡県
185	第2学年	鑑賞(3時間扱い)	曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。 「交響曲第5番ハ短調第1楽章」 ベートーヴェン作曲	「交響曲第5番ハ短調第1楽章」の曲の構成と曲想の変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：ベートーヴェンについて興味を持たせ曲のよさや美しさをより味わって聴くため、各グループでこちらが決められたテーマについて調べ発表させる。 第2時：オーケストラの楽器、動機、ソナタ形式などについて理解し各部分を区切って聴き取ったことをグループで話し合いワークシートに記入させる。 第3時：曲の音色、リズム、形式、構成を知覚・感受しながら映像で曲を通して聴き、感想をワークシートにまとめさせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	神奈川県
186	第2学年	鑑賞(3時間扱い)	構成や八分休符に込められた作曲者の思いを探ろう。 「交響曲第5番ハ短調第1楽章」(ベートーヴェン作曲)	「交響曲第5番ハ短調第1楽章」の構成や動機、作曲者の人生に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。	第1時：動機の変化を意識して聴き、ソナタ形式について理解する。 第2時：動機の8分休符に注目し、リコーダーで冒頭の4小節の演奏をする。指揮で同じ箇所を表現し、8分休符がある演奏とない演奏では、どのような違いがあるのかを体感する。 8分休符があることでどのような効果が生まれるのかを考える。 第3時：ベートーヴェンの生い立ちについて振り返り、8分休符にどんな思いを込めたのかを考え、グループで意見交換する。学習を振り返り、「交響曲第5番ハ短調第1楽章」に対する評価とその根拠について考えたことを批評文にまとめる。	静岡県
187	第2学年	鑑賞(3時間扱い)	旋律の特徴やパイプオルガンの豊かな響きを感じ取りながら聴こう。 「フーガト短調」	パイプオルガンの音色やフーガ形式の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：パイプオルガンの演奏を映像で見るとして、パイプオルガンの発音構造や奏法、音色について学び、関心をもつ。 第2時：曲を聴いて、フーガ形式の特徴や感じ取ったことを話し合う。 第3時：本題材を振り返り、パイプオルガンの音色やフーガ形式の特徴をまとめ、互いに伝え合う。 全時：授業の最後に、振り返りをワークシートに記入する。	静岡県

188	第2学年 鑑賞(3時間扱い)	歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。 歌舞伎「勸進帳」	音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組みようとする	第1時：歌舞伎の生い立ちや、特有の表現、音楽の特徴を感じ取ろう(勸進帳の特定の部分を動画鑑賞し、歌舞伎について関心を持つ。そのうえで、歌舞伎の生い立ちや、特有の表現について学習する) 第2時：特有の表現、音楽の特徴を感じ取り、スライドまとめよう(勸進帳から5場面を教師が設定し、その部分の動画を班ごとに鑑賞する。そのうえで個人思考、グループ交流を行い、歌舞伎特有の表現、音楽の特徴をスライドにまとめめる) 第3時：歌舞伎特有の表現、音楽の特徴を発表しよう(第2時に作成したプレゼンシートを班ごとに発表し、発表を意欲しながらクラス全体で鑑賞する) 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。 その他：タブレット、googleクラスルームを活用し、勸進帳の動画(5場面分)を個人で鑑賞できるようにした。	石川県
189	第2学年 鑑賞(3時間扱い)	雅楽の多様な表現を観賞しよう。 雅楽「越天楽」 舞楽 左舞「万歳楽」 右舞「拍椿」	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協動的に取り組んでいる。	雅楽が誕生して演奏されてきた年月やどうやって伝わってきたか、使われている楽器の音色を知ろううえで、「越天楽」の冒頭をグループで演奏してみる活動してみた。ヒントとなる音楽は1人1台端末(タブレット)で聴けるようにしたり、手掛かりとなる現代の楽譜なども置いて自由に使えるようにしたり、個別最適な学びを意識してできるようにした。	石川県
190	第2学年 鑑賞(4時間扱い)	ポレロを実際に演奏しよう。 ・グループでリズム、ベース、メロディに別れ演奏する。 ・動画の指揮者に合わせてオーケストラの一員となって演奏しよう。	・同じリズム、ベース(ギター)、メロディが繰り返していること ・演奏のポイントを示しながら奏法を身につける ・お互い、聴きあいながら合わせることでポイントであることを指示する ・ある程度できるようになったらオーケストラと合わせてみる ・オーケストラと合わせた時の緊張感など感想を書かせ発表しあう	・1年生から鑑賞した曲をキーボードで体験する地頭 ・キーボードに親しめるよう音階などをにされるよう指導 ・和楽器も同様に鑑賞した後、実際に演奏する指導 ・体験から鑑賞のポイントを深める指導	北海道
191	第2学年 鑑賞(4時間扱い)	曲想と音楽の構造の関わりについて理解を深めよう。 「交響曲第5番ハ短調」(ベートーヴェン作曲)	曲想と音楽の構造との関わりに、作曲者の思いや意図を考え合わせることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。	第1時：冒頭部分のみを聴かせ、関心を引き付けてから第1楽章を通して聴いてみる。 第2時：ソナタ形式の構造を可視化し、図を用いて分かりやすく説明する。 第3時：冒頭2分を繰り返し聴けるようタブレットに保存しておき、グループで第1楽章から第4楽章まで、担当を分ける。(ジグソー法の活用) 第4時：自分だったらどんな題名を付けるかを考え、良さや面白さに気付けるようにグループごとで担当した楽章のプレゼンを行う時間を設定する。	静岡県
192	第2学年 鑑賞(6時間扱い)	曲のしくみに注目して、オーケストラの名曲を味わおう！ 「交響曲第5番ハ短調」(L.v.Beethoven)	交響曲第5版ハ短調《運命》の曲想と作曲者の精神や生き様との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。	ベートーヴェンが楽曲の冒頭に表れる「運命動機」について、仮に「このように運命は扉をたたく」と本当に語っていたとしたら、第1楽章提示部の音楽の特徴や雰囲気の変化が作曲者の心の中や人生とどのように重なっているのかについて、聴き取ったことや感じ取ったことを関連付けながら語り合う場面を設定した。	静岡県

193	第3学年	鑑賞	題材名：音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう。「ボレロ」	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽の聴くポイントとなる旋律を歌ったり演奏したり、リズムを打ったりして表現活動しながら取り組ませる。（吹奏楽部の生徒が旋律のAとBを楽器で演奏して聴かせる。・全員で小太鼓のリズムを打ちをする。）・音楽から感じたことや考えたことなど、よさや美しさについて友達と意見交換し、考えを深め、ワークシートに自分の言葉で意見文を書いて発表させる。	栃木県
194	第3学年	鑑賞（2時間扱い）	能の魅力を味わおう。	能の音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：・既習曲「アイーダ」の合唱と能「敦盛」地謡「後ろより～」の部分を聞き、 ・それぞれの音楽の雰囲気や違いなどを捉えさせる 個人で考えたことをワークシートに記入し、全体で共有する場を設定する 第2時：・再度、2曲を視聴し共通点や相違点を明らかにし、 GIGA端末を用い、グループで意見交換をさせる ・学習したことから自分の考えをワークシートに書かせ（批評文） 関連付けながら自分の考えをワークシートに書かせ（批評文） 全体で批評文を発表し合い、内容について意見交換をさせる	神奈川県
195	第3学年	鑑賞（2時間扱い）	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。「アルタバ」	それぞれの情景による音色や強弱の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	第1時：標題と曲の特徴との関わりを理解し、情景を思い浮かべながら鑑賞しよう。 第2時：作曲者の意図を掴み、曲に込められた思いを感じ取りながら鑑賞しよう。	静岡県
196	第3学年	鑑賞（2時間扱い）	音楽の特徴やその背景を理解して、その魅力を味わおう。「アルタバ」	曲想と構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴き、多様な音楽に親しむ。	学年や生徒の実態に応じて、生徒の思考、判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を想定して掲示。	栃木県
197	第3学年	鑑賞（3時間扱い）	世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。「世界の諸民族の音楽」	世界のさまざまな民族において親しまれている音楽、楽器に関心をもち、楽器それぞれの特徴がもたらす音楽の雰囲気について主体的・協働的に学習活動に取り組むとともに、それぞれの音楽に親しむ。	第1時：朝鮮半島・アラブ諸国・北インドで親しまれている民族音楽を聴き、気づいたことや感じたことを交流しながら関心をもたせる。 第2時：グループごとに担当の音楽・楽器を決めて、協力しながら調べ学習をさせる。楽器の特徴と音楽の雰囲気結び付け、魅力を深める。 第3時：調べたことをもとに音楽の魅力についてまとめ、他グループに紹介させる。紹介を受けて改めて聴き、楽器の特徴と音楽の雰囲気との関係について考えさせ、音楽に親しませる。	岐阜県
198	第3学年	鑑賞（3時間扱い）	作曲者が記した標題や解説、当時の時代背景から作品に込められた思いを感じ取って聴こう。連作交響詩「わが祖国」から「アルタバ」	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。	第1時：標題のイメージと音色、速度、旋律、強弱との関わりについて理解させる。 第2時：音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて知り考えさせる。 第3時：音色、速度、旋律、強弱を知覚・感受しながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考えさせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	埼玉県

199	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	「アルタバ」 音楽と音楽を形作る要素と情景を 関連付けて聴こう(書こう)	1、曲想と音楽の特徴との関わり注目 しながら、音楽の良さや美しさを味わっ て聴くことができる。 2、作曲者が記した表題や解説、当時の 時代背景から、作品にこめられた思いを 自分なりに感じ取って聴くことができ る。	第1時：作曲者や作曲家について、時代背景についてワークシートに記入しまとめ、関心をもたせる。 曲を聴く。演奏する楽器の写真を見て楽器の特徴や種類を理解する。 第2時：課題に沿って音楽を聴き、音楽を形作る要素と情景を関連させて聴く(書く)。 第3時：「どれどれタイム」を数分設けて、クラスメイトの考えを自由に見て回れる時間を設定し、 クラスメイトの考えを参考にさせ、楽曲の良さや作曲者の楽曲に込めた思いを考えさせた。 全時：考えをまとめやすく、記入しやすいように手製のワークシートを使用。また、音楽の特徴を言 語化しやすくするために、「音楽を形作る要素」と活用の仕方を記載した参考表を作成し、ワーク シート記入に役立たせた。	新潟県
200	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	作曲者の思いを感じ取りながら、 音楽を味わおう。 「アルタバ(モルダウ)」	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史 との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽 しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習 活動に取り組もうとしている。	第1時：ブルタバを表す旋律を聴かせ、どのような楽器で演奏されているのか何を表現しているのかを 想像させる。作曲者や時代背景などを説明し、鑑賞曲に関心を持たせる。 第2時：課題ごとに関心したことや想像した情景などをワークシートに記入しながら、課題ごとの 表現の遠いを感じ取る。自分が記入した意見をグループで共有し発表させ、作曲者の思いを感じ取っ ていく。その際、自分の意見は黒、他の人の意見は青、先生の意見は赤というように色を分けて記入 させる。 第3時：曲全体を通して映像で鑑賞し、課題ごとに関心したことや想像した情景を確認する。授業 の最後に曲の良さをワークシートにまとめる。	栃木県
201	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	日本の伝統音楽の特徴を理解し て、その魅力を味わおう。	我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴が 生まれられる音楽の多様性に関心を持ち、 音楽活動を楽しみながら主体的・協動的 に鑑賞の学習活動に取り組むことができ る。	第1時：能の歴史や演奏形態について知る。模範演奏を聞いて謡の発声の仕方などの特徴を感受す る。感受したことを、演奏し関心深める。 第2時：唄子による演奏を鑑賞し、音楽の良さや美しさを味わわせる。 《修学旅行にて、能楽体験をして、授業で学習したことを体験させた。》 第3時：能「敦盛」を鑑賞し、場面の様子や、登場人物の心情が、どのように音楽と舞で表現されて いるかを味わわせる。	栃木県
202	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	楽器ごとの音色の違いを理解しな がら、展覧会の絵に親しもう。 「展覧会の絵」	楽器の特色や、楽曲にまつわる時代など の背景を関連付けて考え、自分なりの言 葉で根拠をもって批評しようとしてい る。	第1時：様々な楽器の音色を実際に聴くことで、楽器の持つ音色の特色や特徴を感じ取る。 第2時：絵にまつわる音楽の印象や特徴を自分なりの言葉で根拠をもって批評する。 第3時：時代や楽曲の背景にまつわる情報を伝えようとして、音楽を構成する諸要素を関連付けて感想 文を書く。	大阪府
203	第3学年	鑑賞(4時間扱い)	音楽の特徴や背景を理解して、そ の魅力を味わおう。 「アルタバ」	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特 徴とその背景となる歴史との関わりに関 心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体 的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組も うとしている。	必要に応じて、旋律を歌ったり、特徴的なリズムを手で打ったり指揮をさせることで音楽の特徴を感 じ取ることができるようにした。 タブレットを使って歴史的背景を調べたり、ネット上で多対個の発表を行うことにより、様々な知識 や意見を得ることができ、自分の考えを深めることができるようにした。	香川県
204	第3学年	鑑賞(5時間扱い)	舞台芸術を楽しもう。 オペラ ユーヅカル 歌舞伎 京劇	態度 音楽と舞台芸術の雰囲気の違いを わりに関心を持ち、音楽活動と舞台活動 を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の 学習活動に取り組もうとしている。	各舞台芸術の動画を見せて、最後に4つの中から個人として興味をもったものを1つ選び、同じ舞台 芸術の人たちでグループをつくる(オペラグループ ユーヅカルグループ…)そのグループ内で舞 台芸術のことを分担任して調べて、グループスライドを共同で作成し発表するようにした。 (オペラの特徴 歴史 盛んな国地域 使用される楽器 演奏される音楽の特徴 演じる役者の演技 役者の衣装やメイク 上演する劇場や舞台装置 代用的な演目 有名な団体・役者 見た・調べた 感想) そのなかで、興味を持った舞台芸術の自分が良さを感じた事や、調べの中で特徴的な事をクラス全体 に知って欲しい、詳しく伝える工夫ができるように、効果的な発表方法を考えさせた。(見やすい、 分かりやすい、伝わりやすい)	北海道

205	第3学年	鑑賞(2時間扱い)	音楽のおもしろさの秘密を探ろう。 ～音楽の構造に注目して～ 「ボレロ」	音楽の構成とその動きが生み出す音楽の特質や雰囲気に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	第1時：反復に着目して鑑賞したり、反復されているリズムや旋律を身体表現で表したりして、ボレロの音楽の構造を知る。 第2時：変化に着目して鑑賞し、音楽の雰囲気の変化やおもしろいと感じたことをワークシートにまとめる。 全時 適宜、ペア対話やグループで、音楽の反復や変化を聴きながら感じたこと、面白いと思ったこと、その理由について共有した。	島根県
206	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	作者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。 「アルタバ(モルダウ)」	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	第1時：実際に自分が撮影したブルタバ川の写真を見せて関心をもち、曲を聞かせる。気づいたこと・感じたことを交流したうえで、作曲家や曲の背景について理解する。 第2時：標題ごとの特徴を聞き取り、グループで話し合いながらイメージをもたせる。 第3時：興味をもった標題について、自分なりの言葉で説明し、曲についての理解を深める。班で交流する。	岐阜県
207	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	「アルタバ」	音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：ブルタバに関連して、楽曲解説、交響詩、作曲家(代表作)、チェコ、オーケストラなどについて、調べさせ、ペア学習などで意見交換を行う。 第2時：ブルタバの7つの標題について動画カードと楽譜カードを選び、オーケストラの楽器と標題について、オーケストラの楽器での表現を理解させる。 オーケストラの楽器とその音色を結び付けながら聴き、どのような情景なのか、映像や音からヒントを得ながら考えさせる。 第3時：それぞれの標題部分の音楽について、音楽の特徴や情景イメージしたことについて生徒が感じたことなどを元に、作曲者がなぜブルタバ川を題材として作曲したのかを記入させる。その後、それぞれが記入したことを発表または、提出箱での確認で共有し、作曲家スメタナの祖国への思いをまとめさせる。	山口県
208	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	ボレロの構成を捉え、音色の移り変わりを感受しよう。 ラヴェル『ボレロ』	ボレロの繰り返されるリズムと2つの旋律、音色の変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：ドラマが演奏しているリズムを実際に叩いてみたり、メロディーと合わせるなどして、ボレロの構造や、リズムとメロディーとの重なり方を知るとともに、体験をしながら関心を持てるようにする。 第2時：ボレロの音色の変化を、演奏している動画を鑑賞したり他者と話し合う活動を通して関心を持てるようにする。 第3時：ボレロの紹介文を記入する活動を通して、他者に感想を伝えようとする。 全時 授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	静岡県
209	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう。 「アルタバ」	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：ブルタバを鑑賞し自由に感想を発表するとともに、曲の背景となる文化や歴史、作曲家の思いを知り、曲について関心をもちさせる。 第2時：源流の場面を聴き、感じ取ったこと、そのように感じた理由をワークシートに記入し、それぞれにグループで意見交換をする。同じようにそれぞれの場面についてもグループで話し合わせる。 第3時：この曲のよさについて音楽の特徴や背景などを関連させながら、自分の考えをワークシートにまとめ、グループで発表し合い、感想を伝え合わせる。	栃木県

210	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。 「ブルタバ(モルダウ)」	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	第1時：最初にAの部分を読み、想像した情景を発表し合い、曲への関心をもたせる。 第2時：グループごとに担当する部分を読み、課題がどのように表現されているのかについて、グループ内で話し合わせる。また、グループごとの発表を参考にし、旋律を口ずさんだり、指揮をしたり、特徴的なリズムを手拍子したりして、特徴を感じ取らせる。 第3時：音楽DVDを使い作曲者について知ったり、「楽曲について」や「ブルタバ」が作曲された当時のヨーロッパの地図「作曲者自身による解説」を読んだりして、曲の背景となる文化や歴史について関心をもたせる。	岐阜県
211	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。(3時間) 「We Will Rock You」 Brian May/作詞・作曲 「Waltz For Debby」 Bill Evans//作曲 「Agua de Beber」 Vinicius de Moraes/作詞 Antonio Carlos Jobim/作曲	ポピュラー音楽のリズムや音色、旋律、音の重なりなどに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：ポピュラー音楽の演奏形態や音楽の背景となる歴史や文化についてふれ、比較鑑賞や調べ学習を通して、関心をもたせる。 第2時：ポピュラー音楽が広く親しまれている理由を音楽を形づくっている要素から考えさせ、音楽のジャンルごとにグループを作って話し合わせる。 第3時：ポピュラー音楽のどのような特徴が自分たちの生活に必要とされているのか、自分が選んだジャンルについてプレゼン原稿を作り、発表させる。他のグループの発表を聞いた感想をワークシートに記入させる。	千葉県
212	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	音楽的要素から情景を想像しながら楽曲を味わおう。 「ヴィヴァルディ四季より『春』」	楽曲の速度や音高を比較して聴き分け、ソネットが表現しているものを自分なりに考え、情景を想像させる。	導入として、4.5曲音楽的要素の特徴がわかりやすいものを鑑賞させ、鑑賞に対する興味関心を引き付ける。その導入の後、題材とする教材を鑑賞させることで、意欲的に鑑賞することができた。	千葉県
213	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 能「敦盛」	能「敦盛」の謡や囃子の音色やリズム、速度の変化、歴史的背景などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：実際に謡を誦うなどして、謡の音色やリズム、速度の変化に関心をもたせる。 第2時：前時に誦った場面の囃子を楽器(電子キーボードで代替)で演奏したあと、同じ場面を鑑賞して、謡や囃子のリズム、速度、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて話し合わせる。 第3時：これまでの学習を生かして能の音楽のよさや面白さについて気付いたことや考えたことをグループで話し合わせる。 全時：授業の最後に本時の振り返りを行い、ワークシートに記入させる。	島根県
214	第3学年	鑑賞(3時間扱い)	多様な音楽の世界 ポピュラー音楽～" ジャズ・ポサノヴァ・ロック Jpopなど	ポピュラー音楽の歴史や特徴などから、生活や社会における音楽の役割や意味について考えることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	第1時：ポピュラー音楽の特徴と音楽が影響しあいが新しいジャンルが生まれてきたことを理解させる。 第2時：様々な音楽に個性とともに人をひきつける工夫があることを鑑賞において指導する。その視点をもとに自分の好きな音楽について、どのような部分に惹かれるのかを分析したり、グループで話し合ったりする。 第3時：プレゼンテーションを作成し、相互に発表しあいが、協働的に学ぶとともに幅広い音楽に親しむ。	鳥取県

215	第3学年	鑑賞(4時間扱い)	交響詩の特徴を感じ取り、作曲家の生涯や時代背景を通して、楽曲の価値について考えよう。 「交響詩『我が祖国』より『ブルタバ』」	曲想と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて進んで学ぼうとし、見通しをもったり振り返ったりするなどの、自らの学習を調整しようとしている。	第1時：冒頭部分「ブルタバの第一の水源・第二の水源」を聴き、音楽の要素を根拠にしなが、何を表現しているのか考える。 第2時：「農民の結婚式」・「月の光・水の精」をそれぞれ聴き、スコア(総譜)を参考にしながら、オリジナルの標題を考え、クラスで共有する。 第3時：作曲家スメタナの生涯や、この時代の国際・社会情勢についての映像を視聴し、まともプリントにポイントを記入しながら、この曲が作曲された背景について知る。 第4時：この曲のもつ社会的・歴史的な価値や、自分にとっての価値を、根拠を明らかにしてプレゼンテーションする。	神奈川県
216	第3学年	鑑賞(4時間扱い)	作曲者の思いを感じながら、音楽を味わおう。 「ブルタバ・ポレロ」	音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みむとともに、オーケストラに親む。	第1時：「ブルタバ」を標題ごとに、それぞれの情景を特徴付ける楽器や音色、速度などの変化を感じ取らせる。 第2時：「アラハの春 音楽祭」の映像を見せながら、「ブルタバ」の作曲者が活躍した時代の特徴や背景を感じ取らせ、ワークシートに記入させる。 第3時：「ポレロ」を聴きながら、反復や楽器の音色の変化について感じ取らせる。 第4時：パレエ「ポレロ」を見せながら、どのようなストーリーかを想像させる。また生活や社会における音楽の意味や役割について考えさせて聴かせ、ワークシートに記入させる。	京都府
217	第3学年	鑑賞(4時間扱い)	スメタナ作曲「ブルタバ」曲想と音楽の要素の関わりを感じ取り、鑑賞しよう。	作曲者スメタナがブルタバ川の様子を表すために一つひとつの情景にどのような工夫をし音楽の要素によって表現したかを考える。 A→設定された情景を音楽の要素を複数使って説明し感じ取っている。 C→情景の中で取り組み安いところ(聖ヨハネの急流など)から考えさせて感じ取らせてから他の部分を考えていく。	第1時：簡単な情報を与えて一度全曲を鑑賞し感じ取った情景を考えさせる。 第2時：交響詩について説明し、様々な情景があることを理解させる。また作曲された当時のチェコの様子についても学習する。 第3時：一つひとつの情景を鑑賞し、音楽の要素を知覚し、そのためにどのような情景を生み出しているかを感じる。2時間目の内容も踏まえさせる。またワークシートに音楽の要素を意味を含めて記しておくき、いつでもそれを見ながら考えられるようにする。 第4時：生徒の意見を交流しながらまよりの鑑賞をする。また第1次の自分の感想と比較をして考え方の変化に気付かせる。	京都府
218	第3学年	鑑賞(4時間扱い)	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。 「ブルタバ(モルダウ) 連作交響詩『我が祖国から』」	「ブルタバ(モルダウ)」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の授業に取り組みむとともに、人々に長く愛されている交響詩に親しもうとしている。	第1時：教科書の資料やDVDを使って、作曲された当時の文化や歴史を理解する。標題とそれぞれの場面の曲想の変化に着目して、全体を通して鑑賞する。 第2時：「A ブルタバの2つの源流」の部分聴き、フルート、クラリネット、ヴァイオリンの音楽の特徴と感じたことをグループで述べ合う。その後、他のグループの発表も参考にしながら「A ブルタバの2つの源流」の場面を紹介する文章を書く。 第3時：「A ブルタバの2つの源流」の旋律と「F 幅広く流れるブルタバ」の旋律を聴き、それぞれの音楽の特徴から作曲者がどのような思いをこめたのかを考え、グループで話し合う。 第4時：作曲者がこの曲にこめた思いやチェコの人々に長く愛されている理由を考え、批評文を書く。	静岡県
219	全学年	鑑賞(1時間扱い)	合唱コンクール選曲	それまでに学習した音楽を構成する主な要素に注目して曲を分析し、自分のクラスに合った合唱曲を選択しようとするところとができるか。	1年生の始めに音楽を構成する主な要素について学習した上で、歌唱・器楽・鑑賞さまざまな場面でそれらの要素との関連を取り扱うようになり、ワークシートの記入等場面でも積極的にその言葉を使って考えるようになる。	栃木県

220	第2学年	音楽の基礎知識 (2時間扱い)	音部記号、音符、休符などの記譜	「へ音記号を知らない人に、その意味や書き方や教えます。注意点を2つ以上挙げて説明しなさい。」というテスト問題を作成した。授業で学んだこと(形、曲線、点の位置、点の意味、表記上のポイント)をもとに、自分なりの表現で示していく。間違っていないければ点数になる。	音部記号の形だけでなく、その形の意味や、示していることを授業で詳しく解説した。誤った書き方の例を示し、何がちがうのかを全体で確かめた。表現の仕方はいろいろな言い方があることを全体で確かめた。	静岡県
221	全学年	実技試験の裏などで行う授業プリントで教科書をみればわかるような内容の記入内容・毎時間の振り返りカードの内容	「魔王」各セリフの長調か短調化などの確認プリント	役柄や内容による声の特徴の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的にリポートに親しむことができる。	それぞれの部分を抜き出してメロディーの確認をした。	神奈川県

■ 全日本音楽教育研究会中学校部会 調査研究部 役員 ■

部長	高山俊哉	校長	神奈川県	横浜市立茅ヶ崎中学校
副部長	増田昌久	校長	東京都	葛飾区立小松中学校
副部長	佐藤晴美	校長	東京都	昭島市立清泉中学校
副部長	澁谷恭子	主任教諭	東京都	狛江市立狛江第三中学校
副部長	阿部みどり	主任教諭	東京都	杉並区立阿佐ヶ谷中学校

発行 令和6年3月1日

編集・発行 全日本音楽教育研究会中学校部会調査研究部

印刷所 大盛印刷株式会社

東京都豊島区雑司が谷 1-48-17

TEL03-3971-1246 Fax03-3988-2945